

年報

令和6年度 血液事業の現状

ごあいさつ ―令和6年度血液事業の概要―

私は、令和7年4月より所長を拝命しました佐藤孝と申します。就任してこの数か月の間に血液事業の重要性和、当血液センターの担う役割の重さを改めて痛感しております。関係する皆様方のご助言をいただきながら、血液事業の推進に貢献したいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、皆様方には日頃より血液事業推進に多大な御理解と御協力をいただいておりますことを心より感謝いたします。令和6年度の岩手県赤十字血液センター血液事業の現状につき、ご報告申し上げます。

令和6年度の血液事業の状況は、全血献血は200mL・400mL献血を合わせ 31,982 人（前年度比 100.5 %）、成分献血は 12,395 人（前年度比 101.3 %）、合計で 44,377 人（前年度比 100.7 %）の方にご協力を賜りました。全血献血の 400mL献血は 96.3 % と目標（97.6 %）を下回ったものの、医療機関が必要とする輸血用血液製剤は安定して供給することができました。また継続的に献血に協力いただける方を募集するため、より利便性の高い献血Web会員サービス「ラブラッド」のスマホアプリについて周知し、予約率向上に努めました。予約率は 56.9%と前年度より 6.9 %減となったものの、アプリ会員登録は 5,288 人で東北ブロックから示された目標数（5,280 人）を達成することができました。現在使われております献血手帳や献血カードの発行や更新は令和8年1月4日をもって終了することになっており、今後は「ラブラッド」スマホアプリの利用を促進し、献血者の皆様により利便性の高いサービスが提供できるよう努めてまいります。献血への啓発普及活動としては、高校生対象の献血セミナーを 3回実施し 1,045 人の高校生に参加してもらいました。さらに小学生を対象とした献血セミナーも行い子供たちにも献血への啓発活動を行いました。新聞、ラジオテレビなどの報道機関を通じて、献血会場のお知らせや、献血啓発 CM の放送も行いました。次に輸血用血液の県内 93の医療機関への供給状況は、赤血球製剤 29,343本（前年度比 101.1%）、血漿製剤 7,134本（前年度比 101.2 %）、血小板製剤 6,816 本（前年度比 92.4 %）、合計で 43,293 本（前年度比 99.7 %）を供給しました。各医療機関からの血液製剤の受注については、従来からのFAXを用いた受注方法を、令和6年度からはWeb受注方式に全面的に移行しました。定時発注率については目標値 89.0%に対して 89.2 %と目標を達成することが出来ました。さらに、各医療機関には血液製剤の情報提供、遡及調査、苦情品調査報告を行うとともに、岩手県合同輸血療法委員会や主要医療機関の院内輸血療法委員会とも連携し、適切な血液製剤の供給に努めてきました。

今後も引き続き、関係団体との連携や協力団体への更なるお願いと広報の強化や「ラブラッド」の普及による献血予約の向上を図り、目標の確保とともに、安全で安定した血液製剤の供給に努めて参りたいと考えます。関係各位の更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

岩手県赤十字血液センター
所長 佐藤 孝



目次

01 安全な血液製剤の安定供給の

確保等に関する法律（血液法）の概要 1

02 施設紹介 2

I 献血の概要

01 令和6年度献血状況 4

02 献血者数の推移 5

03 市町村別、保健所別献血状況 8

04 高等学校内における献血状況 9

05 献血Web会員サービス
「ラブラッド」の普及 10

06 リラクセーション等参加者数 11

07 献血ルーム曜日・祝日別献血者数 11

08 献血者における検査サービスの
基準値外を示す割合 12

09 献血者における検査不合格者の割合 13

10 献血の普及啓発 14

11 ボランティアの参加状況 15

12 献血表彰 16

13 献血団体及び献血推進団体 17

II 供給の概要

01 供給状況 22

02 献血区分別供給状況 23

03 保健所管内供給実績 24

04 HLA適合血小板供給数 24

05 岩手県地区別供給数 25

III 学術・品質情報の概要

01 医薬情報活動の状況 26

02 医療機関からの検査依頼状況 26

IV 骨髄ドナー登録の概要

01 岩手県の骨髄ドナー登録者数 27

02 令和6年度新規登録状況 27

V 令和6年度の活動状況

01 令和6年度の動き 28

02 学会発表 29

VI 令和7年度の活動方針・推進計画

01 献血目標について 31

02 岩手県献血推進計画 32

03 市町村別献血目標 36

参考資料

岩手県献血推進要綱 37

岩手県献血推進協議会設置要綱 37

岩手県合同輸血療法委員会設置要綱 39

01 安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)の概要

◆ 目的 (第1条)

この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

◆ 基本理念 (第3条)

- ① 安全性の向上
- ② 献血による
 - ・ 国内自給の原則
 - ・ 安定供給の確保
- ③ 適正使用の推進
- ④ 血液事業の運営に係る公正の確保及び透明性の向上

◆ 関係者の責務 (第4条～第8条)

基本理念にのっとり、

【国】安全性の向上・安定供給の確保に関する基本的かつ総合的な施策の策定・実施

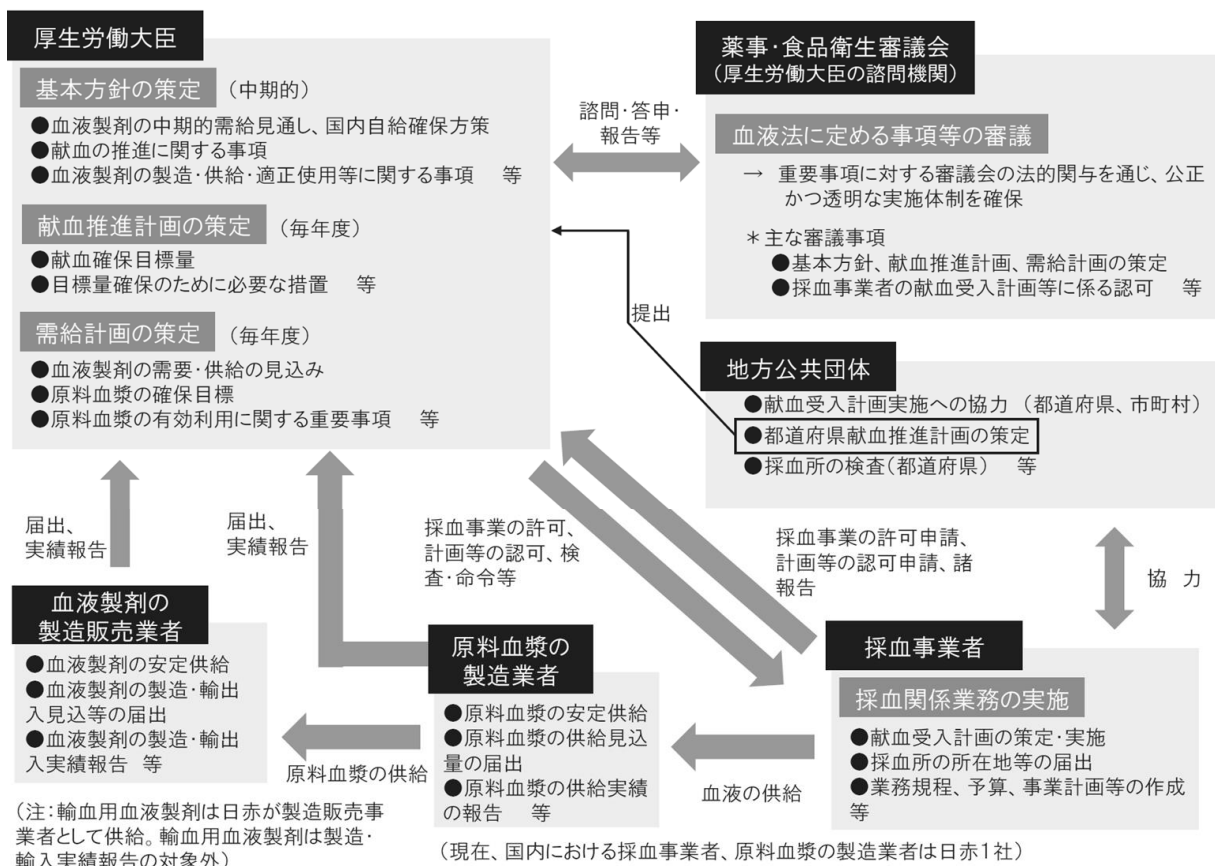
【地方公共団体】献血に関する住民の理解、献血受入を円滑にするための措置

【採血事業者】献血受入の推進、安全性の向上・安定供給確保への協力、献血者等の保護

【原料血漿の製造業者等】安全な原料血漿並びに血液製剤の安定的・適切な供給、安全性向上のための技術開発と情報収集・提供

【医療関係者】適正な使用、安全性に関する情報収集・提供

献血推進の実施体制



02 施設紹介

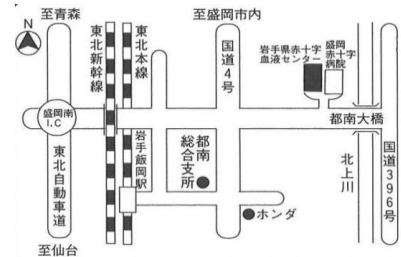
岩手県赤十字血液センター

〒020-0831

岩手県盛岡市三本柳6地割1番地6

T E L 019-637-7200

F A X 019-637-4371



岩手県赤十字血液センター盛岡大通り出張所

〒020-0022

岩手県盛岡市大通り2丁目3-7「CT33」4階

T E L 019-653-6511

F A X 019-653-6558

フリーダイヤル 0120-133-343



もりおか献血ルームメルシー
morioka blood donation room



献血受付時間

成分献血（血小板・血漿）

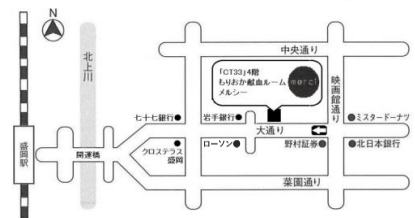
10:00～12:00／14:00～17:00

全血献血（400mL・200mL）

10:00～12:45／14:00～17:45

定休日

12月31日 1月1日



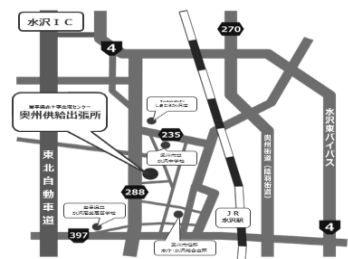
岩手県赤十字血液センター奥州供給出張所

〒023-0062

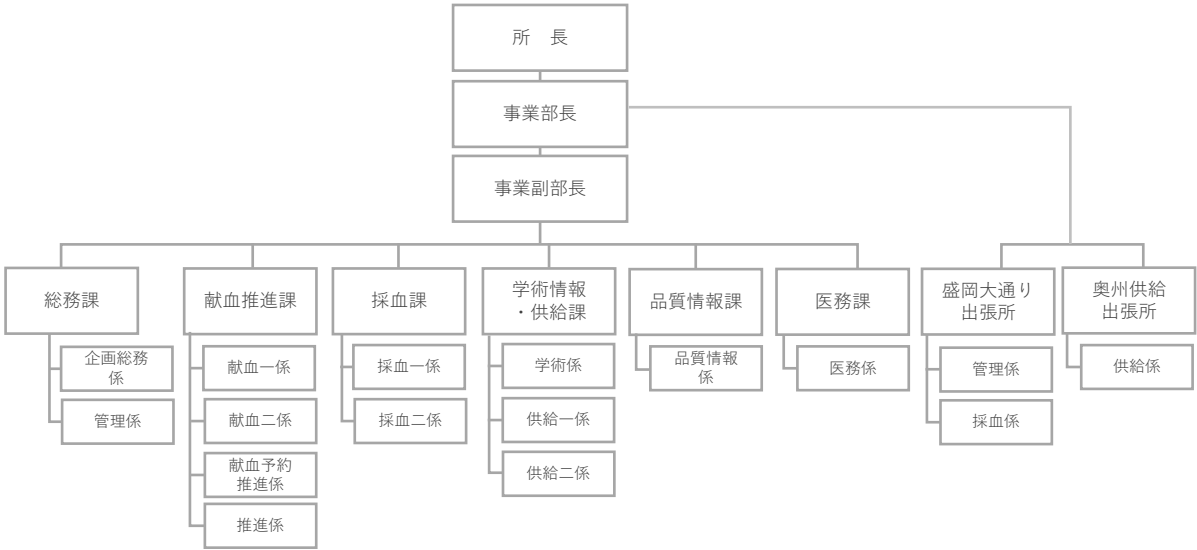
岩手県奥州市水沢字小石田66-4

T E L 0197-47-4827

F A X 0197-47-4874



岩手県赤十字血液センター組織図



献血受入施設・車両の推移

血液センター 採血出張所 (ルーム)			車 両						
			献血バス	健診車	献血運搬車	器材運搬車	送迎車	乗用車	計
令和 3 年度	0	1	4	2	10	2	1	11	30
令和 4 年度	0	1	4	2	10	2	1	11	30
令和 5 年度	0	1	4	2	10	2	1	7	26
令和 6 年度	0	1	4	2	10	2	1	7	26
令和 7 年度	0	1	4	2	10	2	1	7	26

職員数の推移

	医師	薬剤師	検査技師	看護師	その他 医療職	事務職員	計	正職員	再雇用・ 嘱託職員
令和 3 年度	7	1	1	23	1	44	77	50	27
令和 4 年度	6	1	1	24	1	41	74	48	26
令和 5 年度	6	1	2	21	1	45	76	44	32
令和 6 年度	6	3	2	22	1	46	76	48	28
令和 7 年度	6	3	2	24	1	42	78	49	29

01 令和6年度献血状況

01-1 献血者数

(人)

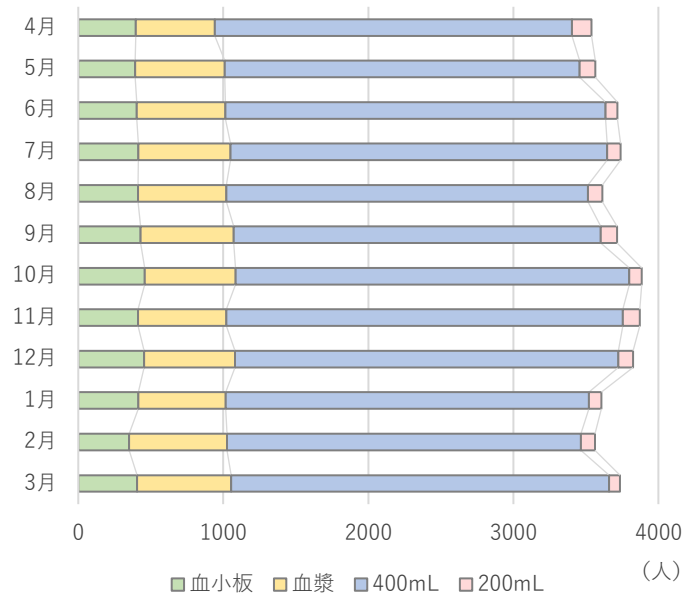
成分献血		全血献血		合計
血小板	血漿	400mL	200mL	
4,942	7,453	30,792	1,190	44,377

<参考>

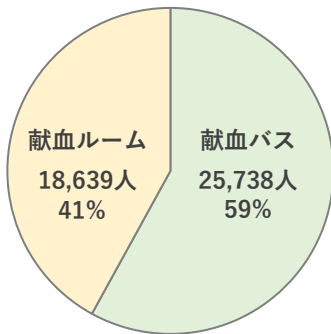
東北ブロック管内の献血者数

		前年度比
血小板	37,893人	99.4%
血漿	58,987人	97.6%
400mL	223,753人	98.3%
200mL	8,195人	101.7%
合計	328,828人	98.4%

01-2 月別献血者数

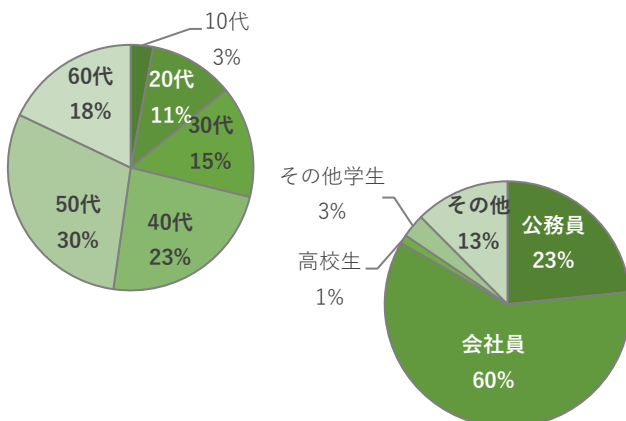


01-3 施設別献血者割合

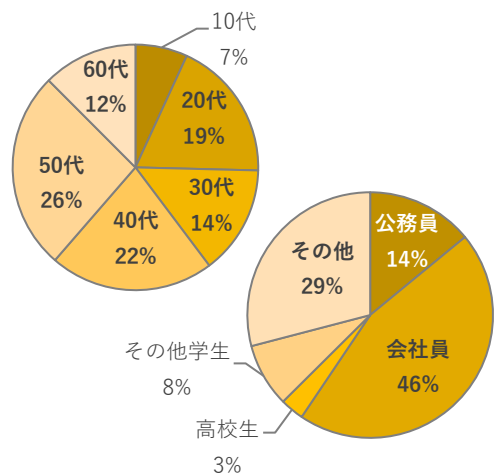


01-4 男性、女性献血者の年代別、職業別割合

男性：献血者数 31,022人



女性：献血者数 13,355人



02 献血者数の推移

02-1 直近5年間の献血者の推移

※下部グラフ参照

(人)

	成分献血		全血献血		合計
	血小板	血漿	400mL	200mL	
令和2年度	3,907	9,155	30,046	1,416	44,524
令和3年度	4,203	9,208	29,686	1,384	44,481
令和4年度	4,228	8,291	29,318	1,267	43,104
令和5年度	5,086	7,151	30,574	1,258	44,069
令和6年度	4,942	7,453	30,792	1,190	44,377

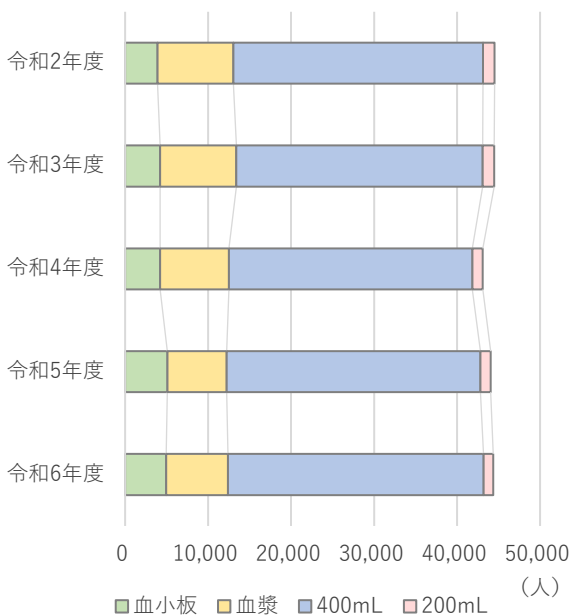
02-2 直近5年間の年代別献血者数の推移

※下部グラフ参照

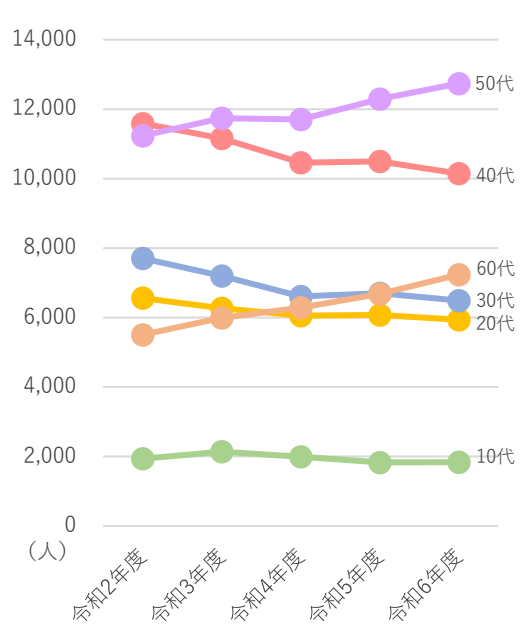
(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代
令和2年度	1,939	6,559	7,702	11,586	11,233	5,505
令和3年度	2,137	6,267	7,193	11,154	11,743	5,987
令和4年度	1,994	6,053	6,605	10,461	11,703	6,288
令和5年度	1,830	6,070	6,701	10,493	12,292	6,683
令和6年度	1,836	5,937	6,489	10,144	12,738	7,233

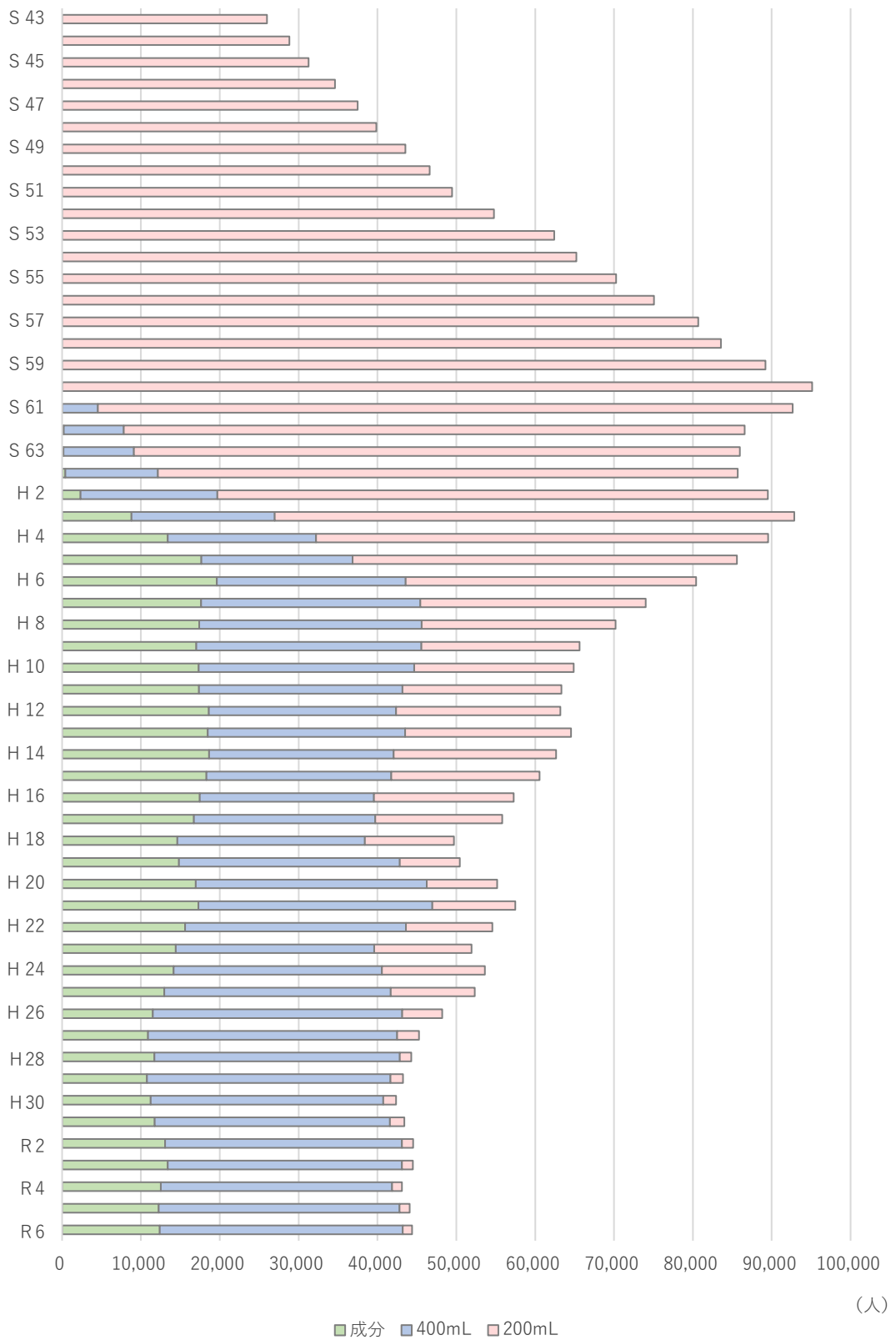
02-1



02-2



02-3 年度別献血者数の推移



02-4 献血受付者数、献血者数、献血ができなかった人数の推移

(人)

		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		
受付者数	男	34,284		34,120		32,593		32,703		32,560		
	女	16,126		15,923		15,472		15,485		15,551		
	計	50,410		50,043		48,065		48,188		48,111		
献血者数	男	31,928	(93.1%)	31,987	(93.7%)	30,705	(94.2%)	31,037	(94.9%)	31,022	(95.3%)	
	女	12,596	(78.1%)	12,494	(78.5%)	12,399	(80.1%)	13,032	(84.2%)	13,355	(85.9%)	
	計	44,524	(88.3%)	44,481	(88.9%)	43,104	(89.7%)	44,069	(91.5%)	44,377	(92.2%)	
献血ができなかった人数	血色素	男	447	(1.3%)	530	(1.6%)	478	(1.5%)	403	(1.2%)	365	(1.1%)
		女	1,764	(10.9%)	2,010	(12.6%)	1,852	(12.0%)	1,382	(8.9%)	1,329	(8.5%)
		計	2,211	(4.4%)	2,540	(5.1%)	2,330	(4.8%)	1,785	(3.7%)	1,694	(3.5%)
	服薬	男	204	(0.6%)	155	(0.5%)	148	(0.5%)	196	(0.6%)	191	(0.6%)
		女	136	(0.8%)	78	(0.5%)	89	(0.6%)	104	(0.7%)	114	(0.7%)
		計	340	(0.7%)	233	(0.5%)	237	(0.5%)	300	(0.6%)	305	(0.6%)
	問診	男	783	(2.3%)	625	(1.8%)	517	(1.6%)	433	(1.3%)	459	(1.4%)
		女	540	(3.3%)	391	(2.5%)	327	(2.1%)	306	(2.0%)	289	(1.9%)
		計	1,323	(2.6%)	1,016	(2.0%)	844	(1.8%)	739	(1.5%)	748	(1.6%)
	その他	男	922	(2.7%)	823	(2.4%)	745	(2.3%)	634	(1.9%)	523	(1.6%)
		女	1,090	(6.8%)	950	(6.0%)	805	(5.2%)	661	(4.3%)	464	(3.0%)
		計	2,012	(4.0%)	1,773	(3.5%)	1,550	(3.2%)	1,295	(2.7%)	987	(2.1%)
	総数	男	2,356	(6.9%)	2,133	(6.3%)	1,888	(5.8%)	1,666	(5.1%)	1,538	(4.7%)
		女	3,530	(21.9%)	3,429	(21.5%)	3,073	(19.9%)	2,453	(15.8%)	2,196	(14.1%)
		計	5,886	(11.7%)	5,562	(11.1%)	4,961	(10.3%)	4,119	(8.5%)	3,734	(7.8%)

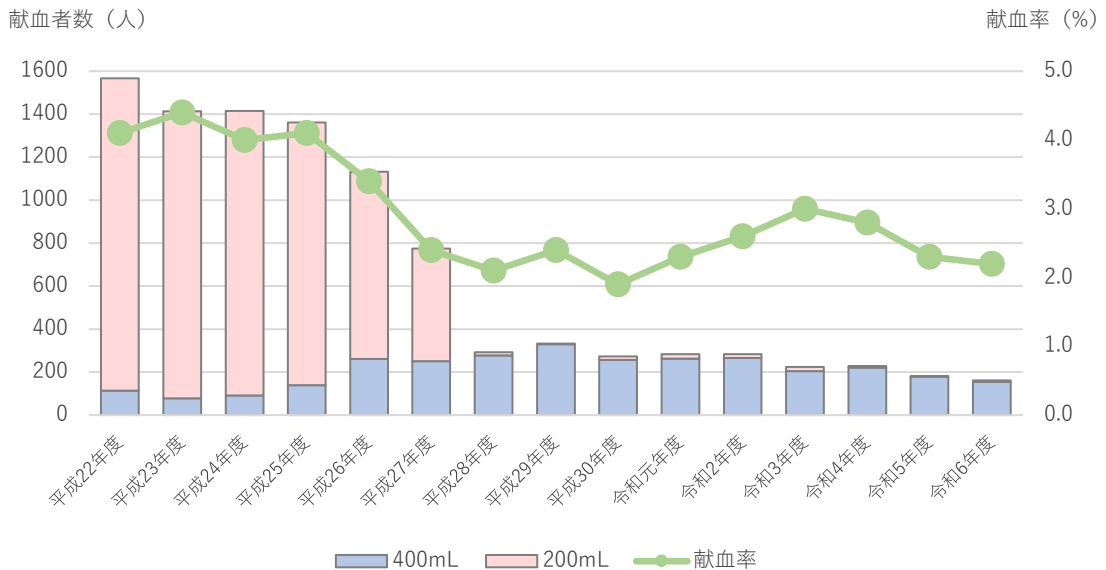
※ %は、受付者数の男・女・計それぞれに対する割合である。

03 市町村別、保健所別献血状況

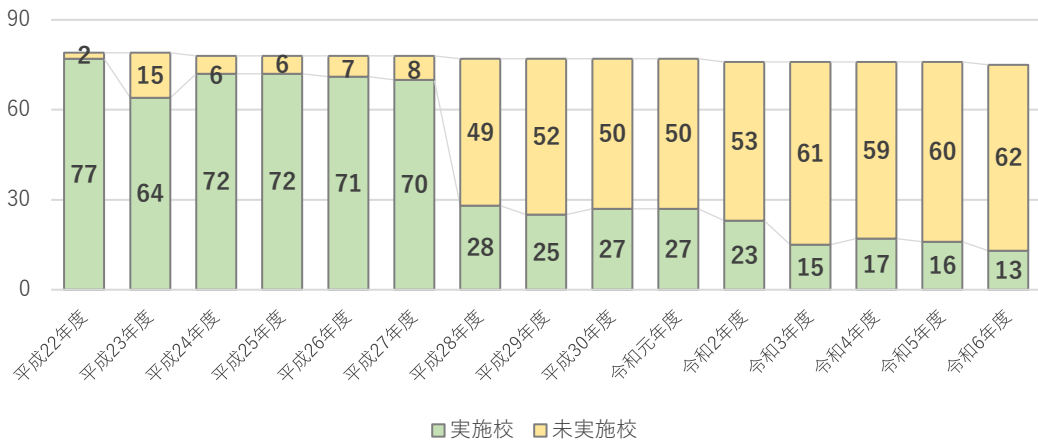
	400mL 献血者数	200mL 献血者数	献血者数	目標達成率	稼働台数 (日数)
盛岡圏域	7,996	278	8,274	98.9	215
盛岡市保健所	4,879	202	5,081	96.2	133
県央保健所	3,117	76	3,193	103.6	82
雫石町	175	1	176	100.9	4
滝沢市	1,038	41	1,079	110.6	28
紫波町	474	6	480	99.7	13
矢巾町	639	15	654	106.2	17
葛巻町	167	5	172	129.9	3
岩手町	238	0	238	91.2	6
八幡平市	386	8	394	89.7	11
中部保健所	5,308	127	5,435	104.6	127
花巻市	2,167	66	2,233	103.2	52
遠野市	534	7	541	103.0	14
北上市	2,518	54	2,572	106.4	59
西和賀町	89	0	89	102.3	2
奥州保健所	3,231	76	3,307	101.6	78
奥州市	2,787	66	2,853	102.9	67
金ヶ崎町	444	10	454	93.8	11
一関保健所	2,776	80	2,856	96.6	73
一関市	2,654	76	2,730	96.7	69
平泉町	122	4	126	95.0	4
大船渡保健所	1,243	14	1,257	99.1	30
大船渡市	811	14	825	99.0	19
陸前高田市	352	0	352	101.1	9
住田町	80	0	80	92.0	2
釜石保健所	853	10	863	98.6	23
釜石市	755	10	765	102.8	20
大槌町	98	0	98	75.1	3
宮古保健所	1,393	40	1,433	90.2	38
宮古市	968	30	998	94.2	26
山田町	219	3	222	72.4	7
岩泉町	161	6	167	94.3	4
田野畑村	45	1	46	104.6	1
久慈保健所	1,198	33	1,231	107.4	27
久慈市	870	28	898	107.0	20
普代村	38	2	40	89.7	1
洋野町	186	1	187	107.2	4
野田村	104	2	106	120.7	2
二戸保健所	1,044	38	1,082	101.8	25
二戸市	692	35	727	95.9	18
軽米町	113	1	114	130.5	2
九戸村	98	0	98	112.6	2
一戸町	141	2	143	108.8	3
市町村計	25,042	696	25,738	100.1	636
献血ルーム	5,750	494	6,244	105.5	364
合 計	30,792	1,190	31,982	101.1	1,000

04 高等学校内における献血状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
献血実施校生徒数	10,849	7,529	8,088	7,569	7,322
献血受付者数	344	275	273	217	199
400mL献血者数	265	205	221	179	154
200mL献血者数	19	19	7	1	8
献血者数（合計）	284	224	228	180	162
献血ができなかった人数	60	51	45	37	37
献血率	2.6%	3.0%	2.8%	2.3%	2.2%



実施校数の推移

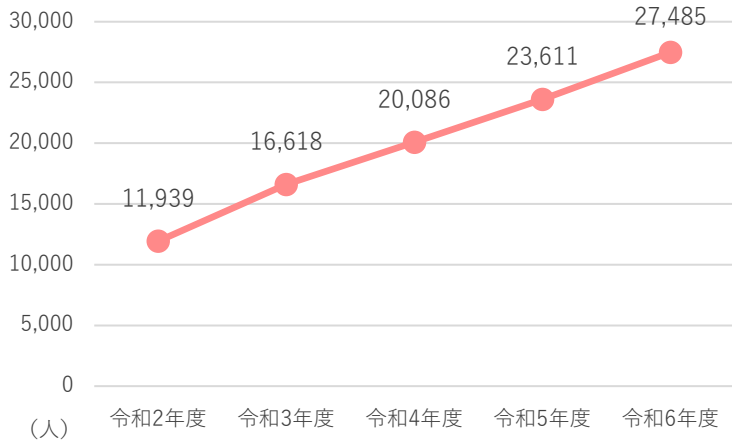


※ 平成28年度から400mL献血を推進したため、献血申込者数と実施校数が減少した。

※ 実施校数には、定時制のみの学校は含まない。

05 献血Web会員サービス「ラブラッド」の普及

ラブラッド会員登録者数

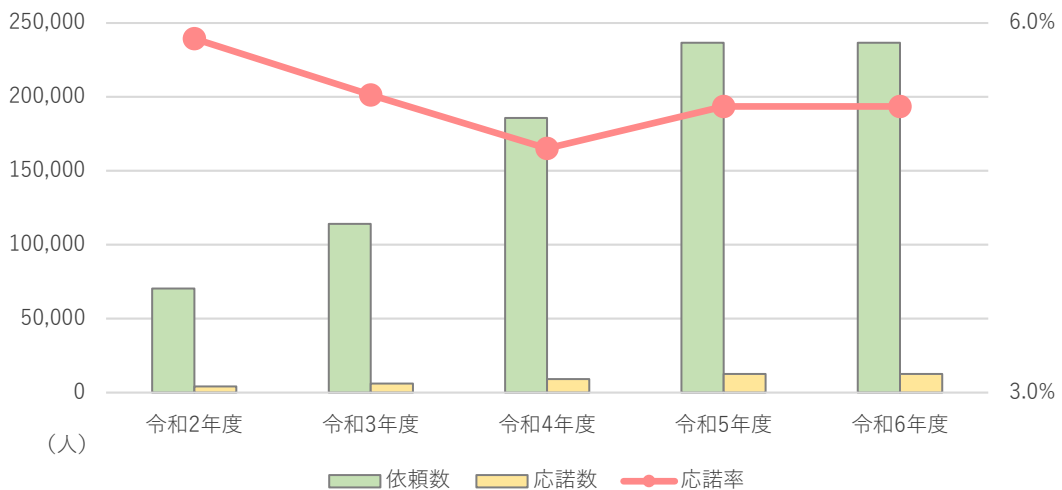


「ラブラッド」とは

継続的に献血にご協力いただける方を募集するため設立した「複数回献血クラブ」が平成30年10月にリニューアルし誕生。令和4年9月にはラブラッドアプリをリリースし、「アプリ版献血カード」や「事前Web問診回答機能」の導入、「プレ会員」の登録等を開始した。

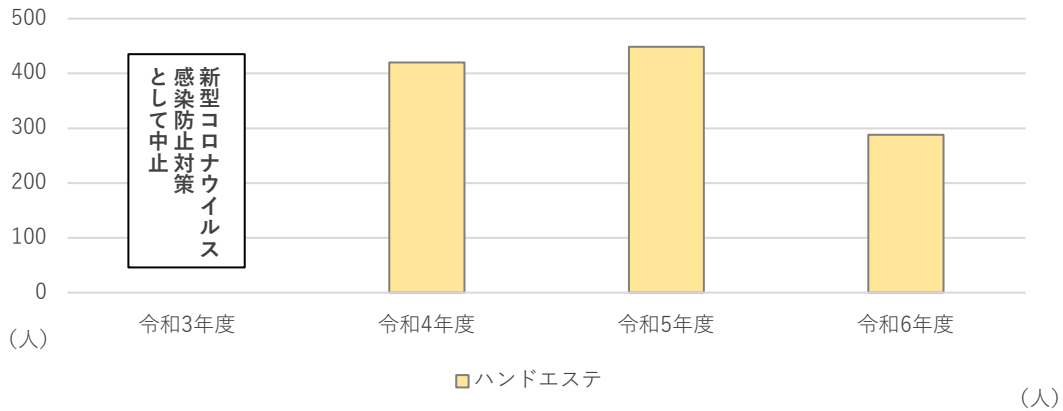


ラブラッド会員への依頼に対する応諾率



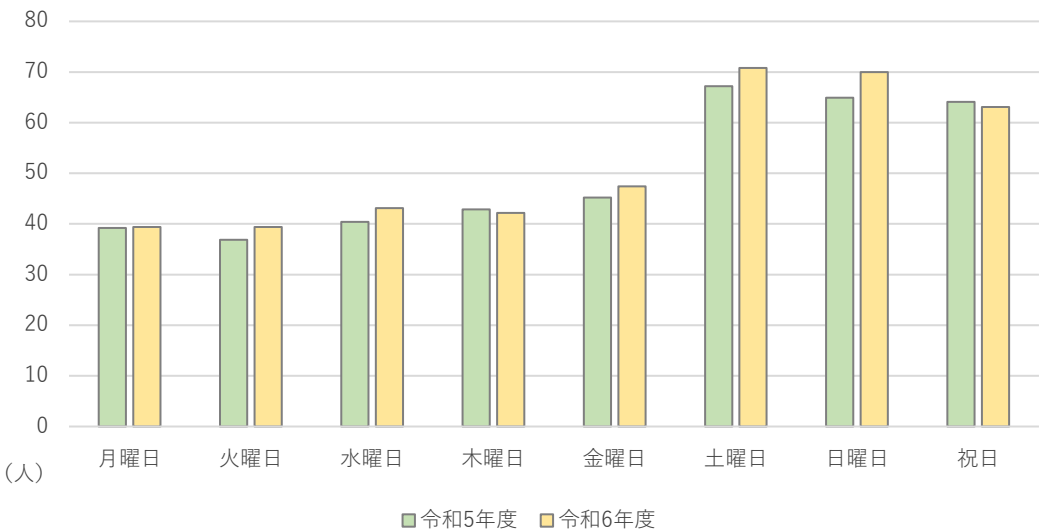
	依頼数 (人)	応諾数 (人)	応諾率
令和2年度	70,411	4,135	5.9%
令和3年度	114,133	6,183	5.4%
令和4年度	185,728	9,253	5.0%
令和5年度	236,694	12,601	5.3%
令和6年度	282,090	14,151	5.0%

06 リラクゼーション等参加者数



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ハンドエステ	－	420	449	288

07 献血ルーム曜日・祝日別平均献血者数

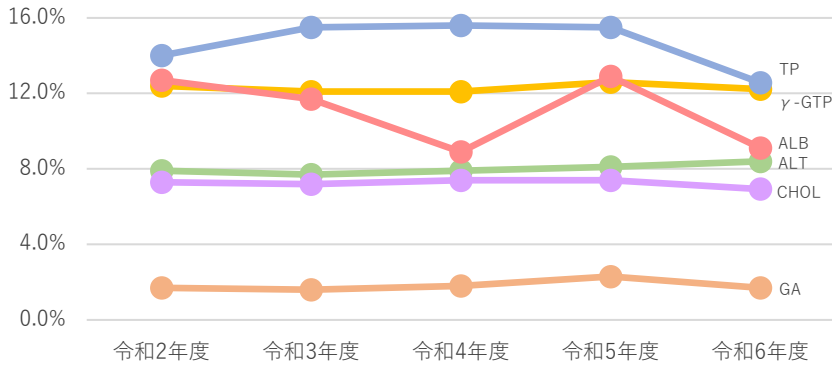


	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	祝日
令和5年度	39.2	36.9	40.4	42.9	45.2	67.2	64.9	64.1
令和6年度	39.4	39.4	43.4	42.2	47.4	70.8	70.0	63.1

※ 祝日とは、国民の休日及び12月29日から1月3日（12月31日、1月1日を除く）である。

08 献血者における検査サービスの基準値外を示す割合

生化学

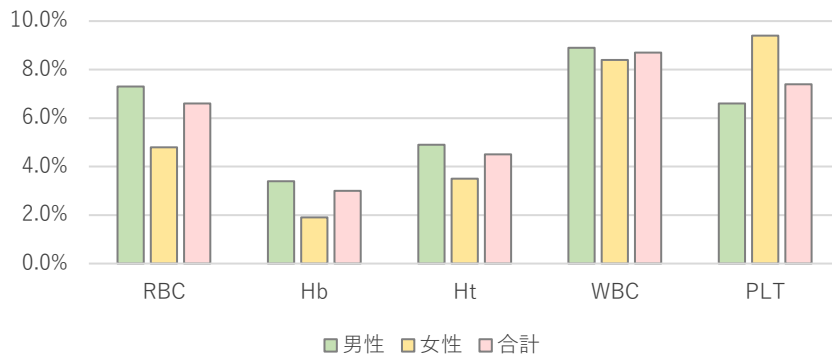


○ALT：肝炎や脂肪肝（肥満）などで上昇する。
 ○γ-GTP：アルコール性肝障害などで上昇する。
 ○TP（総蛋白）：低栄養などで低下する。
 ○ALB（アルブミン）：低栄養や肝病変で低下し、むくみの原因になる。
 ○CHOL（コレステロール）：高いと動脈硬化を起こしやすいとされている。
 ○GA（グリコアルブミン）：血糖の状態をチェックする、糖尿病の検査の一つ。

(人)

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
ALT	3,521	(7.9%)	3,444	(7.7%)	3,398	(7.9%)	3,583	(8.1%)	3,728	(8.4%)
γ-GTP	5,543	(12.4%)	5,384	(12.1%)	5,210	(12.1%)	5,540	(12.6%)	5,424	(12.2%)
TP	6,218	(14.0%)	6,876	(15.5%)	6,723	(15.6%)	6,842	(15.5%)	5,578	(12.6%)
ALB	5,653	(12.7%)	5,218	(11.7%)	3,856	(8.9%)	5,685	(12.9%)	4,050	(9.1%)
CHOL	3,214	(7.2%)	3,195	(7.2%)	3,172	(7.4%)	3,267	(7.4%)	3,076	(6.9%)
GA	741	(1.7%)	710	(1.6%)	757	(1.8%)	1,003	(2.3%)	754	(1.7%)

血球計数

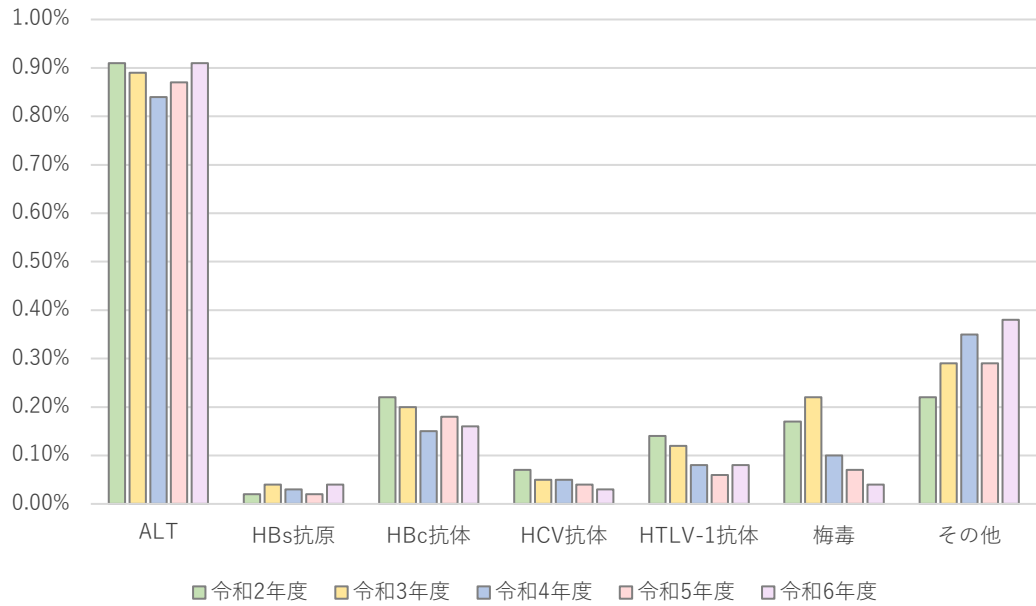


○WBC(白血球数)：細菌感染や血液疾患で増減する。
 ○RBC(赤血球数)：貧血や血液疾患で低下し、子宮筋腫やがんの発見に役立つことがある。
 ○Hb(ヘモグロビン濃度)：貧血の有無を知る目安となる。
 ○Ht(ヘマトクリット値)：貧血の有無を知る目安となる。
 ○PLT(血小板数)：血液の病気や免疫病で低下する。

(人)

検査項目 (基準値)	RBC		Hb		Ht		WBC		PLT	
	男：418～560×10 ⁴ (/μL) 女：384～504×10 ⁴ (/μL)		男：12.7～17.0(g/dL) 女：11.0～14.8(g/dL)		男：38.8～50.0(%) 女：34.6～44.6(%)		38～89×10 ² (/μL)		17.0～36.5×10 ⁴ (/μL)	
男性 31,022人	2,266	(7.3%)	1,060	(3.4%)	1,522	(4.9%)	2,765	(8.9%)	2,051	(6.6%)
女性 13,355人	643	(4.8%)	258	(1.9%)	464	(3.5%)	1,116	(8.4%)	1,252	(9.4%)
合計 44,377人	2,909	(6.6%)	1,318	(3.0%)	1,986	(4.5%)	3,881	(8.7%)	3,303	(7.4%)

09 献血者における検査不合格者の割合



	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
献血者数	44,524	—	44,481	—	43,104	—	44,069	—	44,377	—
ALT	409	(0.91%)	395	(0.89%)	360	(0.84%)	383	(0.87%)	402	(0.91%)
HBs抗原	10	(0.02%)	20	(0.04%)	13	(0.03%)	11	(0.02%)	19	(0.04%)
HBc抗体	99	(0.22%)	88	(0.20%)	64	(0.15%)	78	(0.18%)	69	(0.16%)
HCV抗体	31	(0.07%)	21	(0.05%)	21	(0.05%)	18	(0.04%)	15	(0.03%)
HTLV-1抗体	63	(0.14%)	52	(0.12%)	33	(0.08%)	27	(0.06%)	34	(0.08%)
梅毒	77	(0.17%)	98	(0.22%)	42	(0.10%)	29	(0.07%)	19	(0.04%)
その他	98	(0.22%)	128	(0.29%)	151	(0.35%)	129	(0.29%)	170	(0.38%)
不合格者数(延べ)	787	(1.75%)	802	(1.80%)	684	(1.59%)	675	(1.53%)	728	(1.64%)

10 献血の普及啓発

○ 各種献血キャンペーン

キャンペーン	期間	期間中の献血者数（人）			
		成分	400mL	200mL	合計
愛の血液助け合い運動	7月1日～7月31日	1,050	2,597	92	3,739
クリスマス献血キャンペーン	12月1日～12月25日	871	2,342	92	3,305
はたちの献血キャンペーン	1月1日～2月28日	2,042	4,944	185	7,171
バレンタイン献血キャンペーン	2月1日～2月14日	536	1,444	55	2,035
つなげ、東北の『ち』から。 米（マイ）献血予約キャンペーン	2月15日～3月31日	1,544	3,601	119	5,264

○ 献血セミナー

学校名、団体名	開催日	参加人数
高等学校		
盛岡白百合学園高等学校	7月2日	113
花巻東高等学校	9月18日	732
盛岡大学附属高等学校	12月17日	200
ボランティア団体等		
日赤岩手県支部遠野市地区有功会	7月10日	20
ライオンズクラブ国際協会332-B地区	9月28日	33
岩手教区献血たすけあいの会	3月1日	30
研修医		
盛岡赤十字病院	1月28日	7
県立中部病院	2月6日	11
県立胆沢病院	2月6日	7
県立磐井病院	2月6日	3
岩手医科大学附属病院	2月10日	13
県立二戸病院	2月10日	2
県立中央病院	2月12日	19
盛岡市立病院	2月12日	3
県立大船渡病院	2月12日	4
県立宮古病院	2月12日	1
県立久慈病院	2月12日	4

○ 市町村献血推進協議会等

日開催日	場所
市町村献血推進協議会	
4月12日	宮古市
5月8日	住田町
6月4日	二戸市
6月7日	奥州市
6月24日	葛巻町
6月26日	久慈市
6月27日	釜石市
6月28日	金ケ崎町
7月1日	盛岡市
7月4日	雫石町
7月8日	大槌町
7月23日	一関市
保健所管内市町村担当者会議	
2月26日	県央保健所
2月27日	中部保健所
2月27日	宮古保健所
3月4日	二戸保健所
3月4日	久慈保健所
3月5日	奥州保健所
3月5日	一関保健所

11 ボランティアの参加状況

クリスマス献血キャンペーン：12月1日～12月25日

団体名	参加人数	団体名	参加人数
イーハトーブ学生赤十字奉仕団	4	釜石市赤十字奉仕団	8
一関修紅高等学校	6	釜石ライオンズクラブ	9
一関ライオンズクラブ	3	釜石リアスライオンズクラブ	10
岩手教区献血たすけあいの会	4	釜石レオクラブ	1
岩手県立大船渡東高等学校	6	北上国見ライオンズクラブ	5
岩手県立北上翔南高等学校	2	北上市赤十字奉仕団	2
岩手県立前沢高等学校	6	北上西ロータリークラブ	2
岩手女子高等学校JRC部	4	北上ライオンズクラブ	8
江釣子ライオンズクラブ	7	北上ロータリークラブ	1
奥州市水沢赤十字奉仕団	1	北上和賀ロータリークラブ	3
大船渡五葉ライオンズクラブ	9	花巻市花巻地区赤十字奉仕団	9
大船渡市赤十字奉仕団	12	花巻東ライオンズクラブ	9
大船渡ライオンズクラブ	5	前沢ライオンズクラブ	4
盛岡不来方ライオンズクラブ	5	和賀ライオンズクラブ	4
盛岡市保健推進員協議会	34		
盛岡南ライオンズクラブ	24		

バレンタイン献血キャンペーン：2月1日～2月14日

団体名	参加人数	団体名	参加人数
盛岡中津川ライオンズクラブ	6	二戸ライオンズクラブ	9
岩手教区献血たすけあいの会	3	二戸市赤十字奉仕団	5
岩手女子高等学校JRC部	4	釜石市赤十字奉仕団	8
盛岡市保健推進員協議会	22	金ケ崎ライオンズクラブ	5
花巻ライオンズクラブ	5	金ケ崎町赤十字奉仕団	9
花巻市花巻地区赤十字奉仕団	8	江釣子ライオンズクラブ	10
一関中央ライオンズクラブ	4	専修大学北上高等学校	2
一関修紅高等学校	6	北上市赤十字奉仕団	9
陸中宮古ライオンズクラブ	3	八幡平市赤十字奉仕団	2
宮古市赤十字奉仕団	7	陸前高田ライオンズクラブ	5

12 献血表彰

厚生労働大臣表彰状：2 団体

受賞団体名	所在地
岩手県立産業技術短期大学校 水沢校	奥州市
ライオンズクラブ国際協会 332-B地区 1R・1Z 滝沢ライオンズクラブ	滝沢市

厚生労働大臣感謝状：8 団体

受賞団体名	所在地
株式会社佐賀組	大船渡市
岩手県花巻警察署	花巻市
岩手県国民健康保険団体連合会	盛岡市
株式会社SHOEI岩手工場	一関市
トヨタモビリティパーツ株式会社 北東北統括支社	矢巾町
岩手県立遠野病院	遠野市
岩手県立千厩高等技術専門学校	一関市
ライオンズクラブ国際協会 332-B地区 3R・1Z 前沢ライオンズクラブ	奥州市

知事及び日本赤十字社岩手県支部長感謝状：11 団体

受賞団体名	所在地
岩手県立江刺病院	奥州市
株式会社デジアイズ	奥州市
興栄通信工業株式会社	一関市
水沢信用金庫	奥州市
遠野市総合防災センター	遠野市
株式会社吉田産業盛岡支店	盛岡市
京浜光膜工業株式会社岩手工場	奥州市
岩手県立大船渡東高等学校	大船渡市
特定非営利活動法人カシオペア市民情報ネットワーク	二戸市
銀河モール花巻	花巻市
前沢いきいきスポーツランド	奥州市

13 献血団体及び献血推進団体

盛岡市保健所

盛 岡 市

アフラック岩手県アソシエイツ会
 イオンスーパーセンター株式会社イオンスーパーセ
 ンター盛岡洪民店
 イオンモール株式会社イオンモール盛岡
 イオンモール株式会社イオンモール盛岡南
 一般財団法人岩手済生会三田記念病院
 一般社団法人岩手県銀行協会
 一般社団法人岩手県建設業協会盛岡支部
 一般社団法人生命保険協会岩手県協会
 岩手県環境保健研究センター
 岩手県遊技業協同組合
 学校法人大原学園盛岡校
 学校法人龍澤学園盛岡中央高等学校
 学校法人盛岡理容美容学園盛岡ヘアメイク専門学校
 株式会社ケーズデンキ盛岡南店
 株式会社土木技研
 株式会社ベルジョイス本社
 共立医科器械株式会社本社
 社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院
 大東建託株式会社盛岡支店
 地方独立行政法人岩手県工業技術センター
 マルイチウイングフードマーケットみたけ店
 盛岡大通り商店街協同組合
 盛岡地区広域消防組合盛岡中央消防署
 盛岡八幡宮
 リコージャパン株式会社岩手支社
 医療法人社団恵仁会三愛病院
 医療法人日新堂八角病院
 医療法人友愛会盛岡友愛病院
 学校法人岩手橘学園江南義塾盛岡高等学校
 学校法人岩手奨学会岩手高等学校
 学校法人上野教育学園上野法律ビジネス専門学校
 学校法人龍澤学園盛岡医療福祉スポーツ専門学校
 株式会社N I P P Oコーポレーション盛岡合材工場
 株式会社N T T東日本ー東北岩手サービスセンター
 株式会社Y D Kテクノロジーーズ盛岡事業所
 株式会社アイシーエス
 株式会社ウォーターエージェンシー
 株式会社カガヤ
 株式会社タカヤ
 株式会社ドコモCS東北岩手支店
 株式会社マルイチ東安庭店
 株式会社ユアテック岩手支社
 株式会社岩手銀行本店
 株式会社岩手県農協情報電算センター

株式会社吉田産業岩手ブロック盛岡支店
 株式会社三田商店
 株式会社小山田工業所
 株式会社北日本銀行事務センター
 株式会社北日本銀行本店
 株式会社北日本朝日航洋
 岩手トヨベット株式会社
 株式会社サンファミリー
 株式会社村田製作所
 株式会社純情米いわて
 エムズエクスガ盛岡店
 岩手教区献血たすけあいの会
 岩手県アスファルト合材協会
 岩手県警察学校
 岩手県警察本部
 岩手県国民健康保険団体連合会
 岩手県盛岡西警察署
 岩手県盛岡地区合同庁舎
 岩手県盛岡東警察署
 岩手県庁
 岩手県土地改良事業団体連合会
 岩手県農業共済組合本所
 岩手県立盛岡第三高等学校
 岩手県立盛岡第四高等学校
 岩手県立盛岡南高等学校
 岩手県立中央病院
 岩手日野自動車株式会社
 公益財団法人岩手県予防医学協会
 厚生労働省岩手労働局
 国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所
 国土交通省東北地方整備局盛岡管轄事務所
 国立大学法人岩手大学
 国立大学法人岩手大学ラクロス部
 財団法人岩手県下水道公社
 財団法人岩手済生会会岩手リハビリテーション学院
 財務省東北財務局盛岡財務事務所
 山口北州印刷株式会社
 自衛隊岩手地方協力本部
 社会福祉法人松実会特別養護老人ホーム繋松苑
 真如苑東北本部
 盛岡医療生活協同組合川久保病院
 盛岡合同庁舎
 盛岡市上下水道局
 盛岡市中央卸売市場
 盛岡市保健所
 盛岡市役所玉山総合事務所
 盛岡市役所都南総合支所
 盛岡市役所本庁舎
 盛岡市立高等学校

盛岡商工会議所
 盛岡信用金庫本店
 盛岡信用金庫都南支店
 盛岡赤十字病院
 盛岡中津川ライオンズクラブ
 盛岡南ライオンズクラブ
 盛岡不来方ライオンズクラブ
 盛岡南ショッピングセンターサンサ
 西濃運輸株式会社盛岡支店
 川口印刷工業株式会社
 大和ハウス工業株式会社北東北支社
 北日本機械株式会社
 東日本高速道路株式会社東北支社盛岡管理事務所
 東日本電信電話株式会社岩手支店
 東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社
 東北電力ネットワーク株式会社盛岡電力センター
 東北電力株式会社岩手支店
 東北労働金庫岩手県本部
 特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院
 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構東北
 農業研究センター
 日産プリンス岩手販売株式会社
 農林水産省東北農政局北上土地改良調査管理事務所
 法務省盛岡地方検察庁
 法務省盛岡地方法務局

県央保健所

雫 石 町

株式会社中村建設
 盛岡セイコー工業株式会社
 雫石町役場
 太子食品工業株式会社雫石工場
 雫石町赤十字奉仕団

滝 沢 市

岩手県警察本部警備部機動隊
 岩手県立大学
 いわて生活協同組合ベルフ牧野林
 岩手三菱ふそう自動車販売株式会社
 学校法人盛岡大学
 株式会社小林精機
 株式会社ミクニ盛岡事業所・滝沢工場
 株式会社やまびこ盛岡事業所
 新岩手農業協同組合滝沢支所
 スーパーセンタートライアル滝沢店

I 献血の概要

滝沢市役所
滝沢中央病院
滝沢ライオンズクラブ
ツガワ未来館アピオ岩手産業文化センター

板内第二病院
初駒盛岡インター店
ビックルーフ滝沢
ファミリーマート滝沢ゆとりが丘店
陸上自衛隊岩手駐屯地

紫 波 町

イオンスーパーセンター紫波古館店
協同組合盛岡南ショッピングセンターナックス
サン・ビレッジ紫波（紫波町産業まつり）
紫波警察署
紫波町役場
紫波ライオンズクラブ
日詰商店街駐車場
紫波消防署

矢 巾 町

医療法人社団帰厚堂南昌病院
イオン東北株式会社イオンスタイル矢巾
岩手県消防学校
岩手医科大学附属病院
岩手県立産業技術短期大学校
岩手日野自動車株式会社
株式会社ＴＴＫ岩手支店
株式会社南部医理科
株式会社バイタルネット盛岡支店
東北運輸局岩手運輸支局
トヨタモビリティパーツ株式会社北東北統括支社
矢巾町役場
矢巾町消防団第２分団第４部屯所
ＵＤトラックス岩手株式会社
矢巾町赤十字奉仕団

葛 巻 町

葛巻町役場
一般社団法人葛巻町畜産開発公社

岩 手 町

株式会社飯島産業
医療法人日新堂介護老人保健施設ケアホーム川口
岩手県岩手警察署
岩手県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター
岩手町役場
岩手町スポーツ文化センター

新岩手農業協同組合岩手支所
ニチコン岩手株式会社
ファミリーマート岩手川口バイパス店

八 幡 平 市

一般財団法人みちのく愛隣協会東八幡平病院
シミックＣＭＯ西根株式会社
新岩手農業協同組合八幡平支所
積水メディカル株式会社岩手工場
八幡平市役所
八幡平市安代総合支所
いわて生活協同組合ベルフ八幡平
安代ライオンズクラブ
西根ライオンズクラブ
八幡平市赤十字奉仕団

中部保健所

花 巻 市

イーエヌ大塚製薬株式会社花巻工場
石鳥谷ライオンズクラブ
医療法人啓愛会宝陽病院
岩手県県南広域振興局花巻総合支局
岩手県花巻警察署
岩手県立東和病院
岩手県農業共済組合本所
ＩＮＤＹ５００花巻
小田島商事株式会社
学校法人花巻学院花巻東高等学校
株式会社ＴＳＤ
株式会社伊藤組
株式会社イトーヨーカ堂花巻店
株式会社オイカワ製作所
株式会社コメリパワー花巻店
株式会社新興製作所
株式会社中央コーポレーション
株式会社ツガワ花巻工場
株式会社照甲組
株式会社ベルジョイス 銀河モール花巻
株式会社マルカン エムズエクスポ花巻店
株式会社みちのくクボタ本社
株式会社ユニバース花巻桜木店
株式会社理水興業
株式会社ケーズホールディングス ケーズデンキ花巻店
公益社団法人花巻共立会総合花巻病院
ＣｉｉＮＡＣｉｉＮＡ花巻
大一光学株式会社花巻支社
日東工業株式会社
花巻機械金属工業団地連絡協議会

花巻きらきらモール
花巻高等看護専門学校
花巻市石鳥谷総合支所
花巻市大迫総合支所
花巻市消防本部
花巻市東和総合支所
花巻市役所
花巻農業協同組合本店
花巻東ライオンズクラブ
花巻保健センター
花巻ライオンズクラブ
富士大学
富士フィルムヘルスケアマニュファクチャリング株式会社花巻事業所
和同産業株式会社
花巻市花巻地区赤十字奉仕団
花巻市大迫地区赤十字奉仕団
花巻市石鳥谷地区赤十字奉仕団
花巻市東和地区赤十字奉仕団

遠 野 市

岩手県遠野警察署
岩手県立遠野病院
岩手農業共済組合東南部地域センター
インディ５００遠野
オサダ株式会社岩手事業所
株式会社ＹＤＫ東北工場
株式会社ベルジョイス アクティ遠野店
株式会社ベルジョイス ビッグハウス遠野店
株式会社クライン岩手事業所
筑波ダイカスト工業株式会社遠野工場
遠野健康福祉の里
遠野市消防本部遠野消防署
遠野市役所
遠野地区合同庁舎
花巻農業協同組合遠野地域営農グループ
遠野市赤十字奉仕団

北 上 市

ＤＣＭ北上藤沢店
ＴＤＫエレクトロニクスファクトリーズ株式会社北上工場
一般社団法人岩手県建設業協会北上支部
一般社団法人岩手県自動車整備振興会北上支部・北上地区自動車整備事業協同組合
イオン東北株式会社 マックスバリュ北上店
岩手県北上警察署
岩手県北上地区合同庁舎
岩手県農業研究センター
岩手県立北上翔南高等学校
岩手県立中部病院
江釣子ライオンズクラブ

I 献血の概要

株式会社 I J T 北上工場
株式会社 アムコー・テクノロジー・ジャパン
株式会社 あらた北上センター
岩手県企業局 県南施設管理所
株式会社 後藤製作所
株式会社 コメリパワー北上店
北上鐵工株式会社
株式会社 システムベース
株式会社 ジャパンセミコンダクター岩手事業所
株式会社 西部開発農産
株式会社 東北イノアック北上工場
株式会社 ベルジョイス ジョイス北上アピア店
株式会社 ベルジョイス ジョイス北上鬼柳店
株式会社 北洲本店
株式会社 ミスズ工業岩手工場
キオクシア岩手株式会社
岩手県北上金属工業協同組合
北上国見ライオンズクラブ
北上コンピュータ・アカデミー
北上市役所江釣子庁舎
北上市役所本庁舎
北上総合運動公園
北上地区消防組合北上消防署
北上都心開発株式会社
株式会社 ツガワ北上工場
北上西ロータリークラブ
北上ライオンズクラブ
北上ロータリークラブ
北上和賀ロータリークラブ
協同組合江釣子ショッピングセンターバル
ケミコン東日本株式会社岩手工場
パチンコCAT's北上店
株式会社 サトー北上事業所
シチズン時計マニュファクチャリング東北北上工場
シチズンマシナリー株式会社北上事業所
社会福祉法人 恩賜財団済生会北上済生会病院
社会福祉法人北上市社会福祉協議会
東北 K A T 株式会社
トヨタ紡織東北株式会社本社・北上工場
花巻農業協同組合北上支店
花巻農業協同組合和賀町支店
パンチ工業株式会社北上工場
日立 Astemo ハイキャスト株式会社
富士善工業株式会社
三菱製紙株式会社北上工場
谷村電気精機株式会社
和賀ライオンズクラブ
北上市赤十字奉仕団

西 和 賀 町
西和賀町役場沢内庁舎
西和賀町役場湯田庁舎

奥州保健所

奥 州 市

ダイナム岩手前沢店
E C 南部コーポレーション株式会社
イオンリテール株式会社イオン前沢店
一般社団法人岩手県建設業協会奥州支部
岩手江刺農業協同組合
岩手県奥州警察署
岩手県南広域振興局
岩手県農業共済組合 県南基幹センター
岩手県立胆沢病院
岩手県立江刺病院
岩手県立産業技術短期大学校水沢校
いわて生活協同組合 コープアテルイ
岩手ふるさと農業協同組合
岩手ふるさと農業協同組合水沢支店
イワフジ工業株式会社
エアンドティー江刺工場
江刺岩手ライオンズクラブ
奥州金ケ崎行政事務組合水沢消防署
奥州市役所江刺総合支所
奥州市役所本庁
奥州市役所前沢総合支所
奥州市水沢赤十字奉仕団
大井電気株式会社水沢製作所
株式会社 サンセイ・イサワ
株式会社 千田精密工業
株式会社 ダイナム水沢店
株式会社 T K R 水沢工場
株式会社 デジアイズ
株式会社 ファミリーマート西関田店
株式会社 フジキン
ブランゼージャパン株式会社
株式会社 ミズサワセミコンダクタ
株式会社 ヤマデン岩手事業所
株式会社 ユアテック水沢営業所
株式会社 ユーテムプレジション東北工場
株式会社 ユニバース水沢日高店
関東化学株式会社岩手工場
及源鑄造株式会社
いきいきスポーツランド
合資会社 丸萬 スーパーマーケットサンエー
社団法人 医療法人 啓愛会 美希病院

社団法人 医療法人 啓愛会 美山病院
スーパーセンタートライアル水沢上姉体店
東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社東北事業所
東北電力ネットワーク株式会社水沢電力センター
前沢ライオンズクラブ
水沢アスコン
水沢ライオンズクラブ
六三ビジネスフォーム
ユニカ株式会社岩手工場

金 ケ 崎 町

アイシン東北株式会社
イオン株式会社イオンスーパーセンター金ケ崎店
岩手県立農業高等学校
株式会社 デンソー岩手
金ケ崎町赤十字奉仕団
金ケ崎ライオンズクラブ
財団法人岩手県予防医学協会 県南センター
シオノギファーマ株式会社金ケ崎工場
東北電力ネットワーク株式会社水沢電力センター
トヨタ自動車東日本株式会社岩手工場

一関保健所

一 関 市

バーラーJ-遊一関店
S W S 東日本株式会社一関工場
東里工業株式会社
イオンスーパーセンター株式会社一関店
イオンリテール株式会社イオン一関店
一関市消防本部
一関市役所川崎支所
一関市役所千蔵支所
一関市役所大東支所
一関市役所花泉支所
一関市役所東山支所
一関市役所藤沢支所
一関市役所本庁舎
一関市役所室根支所
一関信用金庫本店
一関地区合同庁舎千蔵分庁舎
一関保健センター
一関中央ライオンズクラブ
一関ライオンズクラブ
ニッソーハイ株式会社東北事業所
岩手県一関警察署

I 献血の概要

岩手県建設業協会一関支部
岩手県千厩警察署
岩手県南広域振興局一関総合支局
岩手県立一関高等看護学院
岩手県立磐井病院
岩手県立千厩高等技術専門校
岩手県立千厩病院
岩手県立南光病院
博愛会 一関病院
岩手日日新聞社東台センター・東台印刷工場
JAいわて平泉一関営農経済センター
学校法人一関学院一関学院高等学校
学校法人健康科学大学一関修紅高等学校
株式会社SHOEI岩手工場
株式会社アロン社一関工場
株式会社一関LIXIL製作所
株式会社ケーエムエフ
株式会社佐々木製菓
株式会社佐原
株式会社ベルジョイス ジョイス三関店
株式会社神文ストア萩荘バイパス店
株式会社神文ストア花泉店
株式会社大昌電子岩手工場
株式会社東北オカヤ
株式会社バイタルネット一関支店
株式会社平野組
株式会社マイヤ千厩店
株式会社マイヤ花泉店
千厩ショッピングモールエスピア
株式会社富士通ゼネラルエレクトロニクス
UBE三菱セメント株式会社岩手工場
株式会社薬王堂岩手川崎店
ダイユーエイト一関大東店
興栄通信工業株式会社
国際医療福祉専門学校一関校大東校舎
国際医療福祉専門学校一関校室根校舎
花と泉の公園
千厩ライオンズクラブ
大東岩手ライオンズクラブ
ドン、キホーテ一関店
花泉ライオンズクラブ
東山ライオンズクラブ
藤沢岩手ライオンズクラブ
藤沢保健センター
室根ライオンズクラブ
株式会社カワチ薬品一関店
川崎岩手ライオンズクラブ
一関厳美溪ライオンズクラブ
一関市赤十字奉仕団

平 泉 町
株式会社ベルジョイス ジョイス平泉店
株式会社フタバ平泉
川嶋印刷株式会社
平泉町役場
平泉ライオンズクラブ

大船渡保健所

大 船 渡 市
岩手開発鉄道株式会社
岩手県大船渡警察署
岩手県大船渡地区合同庁舎
岩手県立大船渡高等学校
岩手県立大船渡東高等学校
岩手県立大船渡病院
大船渡五葉ライオンズクラブ
大船渡市役所本庁
大船渡ライオンズクラブ
株式会社アースデザインコンサルタント
株式会社佐賀組
株式会社マイヤ大船渡インター店
株式会社マイヤ大船渡店
太平洋セメント株式会社大船渡工場
デイリーボート新鮮館大船渡店
大船渡市農業協同組合本店
明治安田生命保険相互会社岩手南営業支社大船渡営業所
龍振鉱業株式会社
東海新報社
岩手県建設業協会大船渡支部
大船渡市赤十字奉仕団

陸 前 高 田 市

アパッセたかた
イオンスーパーセンター株式会社陸前高田店
陸前高田市建設業協会
陸前高田市役所
陸前高田ライオンズクラブ
陸前高田市赤十字奉仕団

住 田 町

住田町役場
住田ライオンズクラブ

釜石保健所

釜 石 市
イオンタウン釜石
医療法人楽山会せいてつ記念病院
岩手県釜石警察署
岩手県釜石地区合同庁舎
岩手県建設業協会釜石支部
岩手県立釜石商工高等学校
岩手県立釜石病院
ファミリーマート釜石甲子町店
釜石大槌地区行政事務組合 釜石消防署
釜石市役所
釜石ライオンズクラブ
釜石リアスライオンズクラブ
釜石レオクラブ
クレスト松原
ケーズデンキ釜石店
国土交通省東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所
双葉精密株式会社
SMC株式会社釜石工場
日本製鉄株式会社北日本製鉄所釜石地区
釜石市赤十字奉仕団

大 槌 町

大槌町役場
岩手県立大槌高等学校
大槌町赤十字奉仕団

宮古保健所

宮 古 市
岩手県宮古警察署
岩手県宮古地区合同庁舎
岩手県立大学宮古短期大学部
岩手県立宮古高等技術専門校
岩手県立宮古病院
いわて生活協同組合マリンコープDORA
株式会社神鐵工所
株式会社ユアテック宮古営業所
国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所
サン物産株式会社サンオート事業部
岩手県建設業協会宮古支部
東北電力ネットワーク株式会社宮古電力センター(太田)
東北電力ネットワーク株式会社宮古電力センター(築地)

I 献血の概要

東北ヒロセ電機株式会社宮古工場
パンチ工業株式会社宮古工場
宮古市上下水道部
宮古市新里総合事務所
宮古市役所
宮古消防署
宮古税務署
陸中建設株式会社
陸中宮古ライオンズクラブ
ウインズ宮古
岩手県立宮古商工高等学校（工業校舎）
宮古市赤十字奉仕団

山 田 町

株式会社エフビー
航空自衛隊第37警戒隊
山田町まちなか交流センター
山田町役場
陸中山田ライオンズクラブ
和田工業株式会社
山田町商工会

岩 泉 町

岩泉町役場
岩手県岩泉警察署
岩手県岩泉地区合同庁舎
社会福祉法人岩泉町社会福祉協議会
社会福祉法人恩賜財団岩手県済生会岩泉病院

田 野 畑 村

田野畑村保健センター
田野畑村役場
田野畑ライオンズクラブ

久慈保健所

久 慈 市

一沢コンクリート工業株式会社第二工場
岩手県久慈警察署
岩手県久慈地区合同庁舎
岩手県立久慈病院
岩手モリヤ株式会社
株式会社岩手村田製作所 久慈工場
株式会社細谷地本社
株式会社ファミリーマート久慈北インター前店

株式会社ヤマイチ
北日本造船株式会社 久慈工場
久慈市役所
久慈市役所山形総合支所
久慈ショッピングセンター
久慈地区広域行政事務組合久慈市防災センター
久慈ライオンズクラブ
元気の泉
ジャムフレンドクラブエース久慈
新岩手農業協同組合久慈支所
久慈港本体作業所
日本地下石油備蓄株式会社久慈事業所
道の駅くじやませ土風館
宮城建設株式会社
国際ソロプチミスト久慈
久慈市赤十字奉仕団

普 代 村

普代村漁業協同組合
普代村役場

洋 野 町

洋野町大野保健センター
洋野町役場種市庁舎

野 田 村

野田村役場

二戸保健所

二 戸 市

岩手県二戸警察署
岩手県二戸地区合同庁舎
岩手県立二戸高等看護学院
岩手県立二戸高等技術専門学校
岩手県立二戸病院
株式会社菅文
株式会社國分屋金物店
社会福祉法人 桂泉会 障がい者支援施設 みやび
二戸市総合福祉センター
二戸市役所
二戸ライオンズクラブ
二戸市シビックセンター
株式会社ユニバース二戸堀野店

カシオペアメッセ・なにやーと
二戸市消防団
二戸市赤十字奉仕団
株式会社十文字チキンカンパニー

一 戸 町

一戸町役場
岩手県立一戸病院
奥中山地区公民館

軽 米 町

軽米町役場

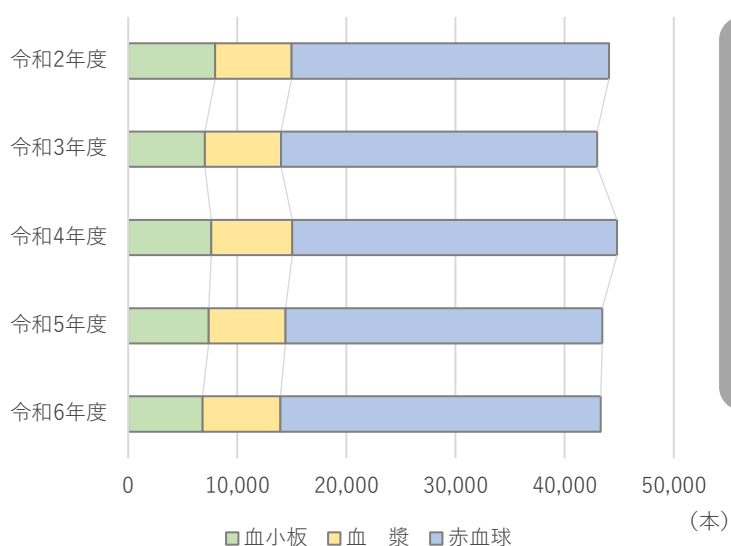
九 戸 村

九戸村役場

01 供給状況

	血小板	血漿	赤血球	全血	合計
令和2年度	7,970	6,993	29,106	0	44,069
令和3年度	7,026	6,973	28,971	0	42,970
令和4年度	7,628	7,413	29,759	0	44,800
令和5年度	7,376	7,050	29,017	0	43,443
令和6年度	6,816	7,134	29,343	0	43,293

※ 単位数にかかわらず、供給実本数で計上した。

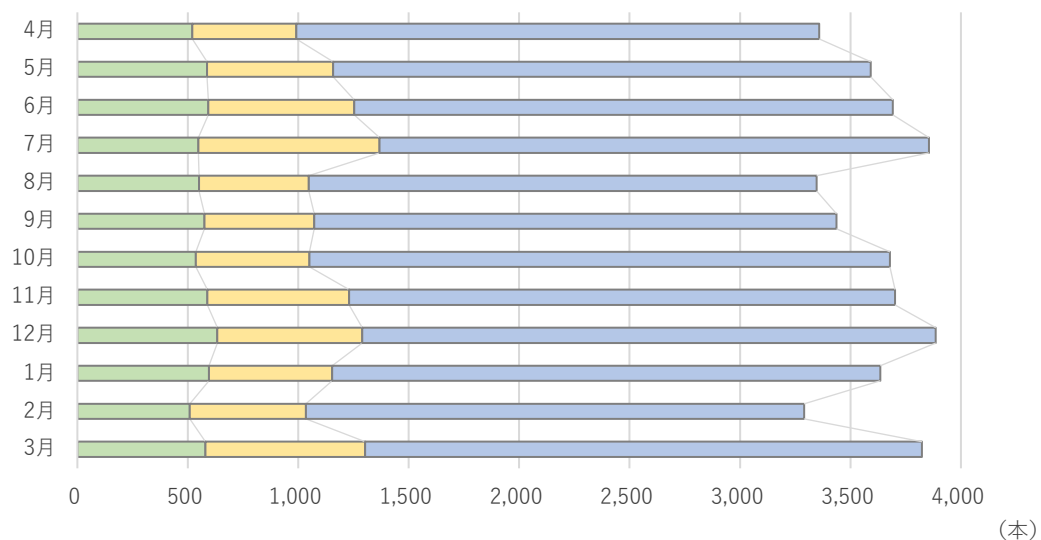


<参考>

令和6年度
東北ブロック管内の供給数

		前年度比
血小板	55,818本	99.1%
血漿	57,895本	102.1%
赤血球	222,876本	99.6%
全血	0本	—
合計	336,589本	100.0%

令和6年度 月別供給状況



02 献血区分別供給状況

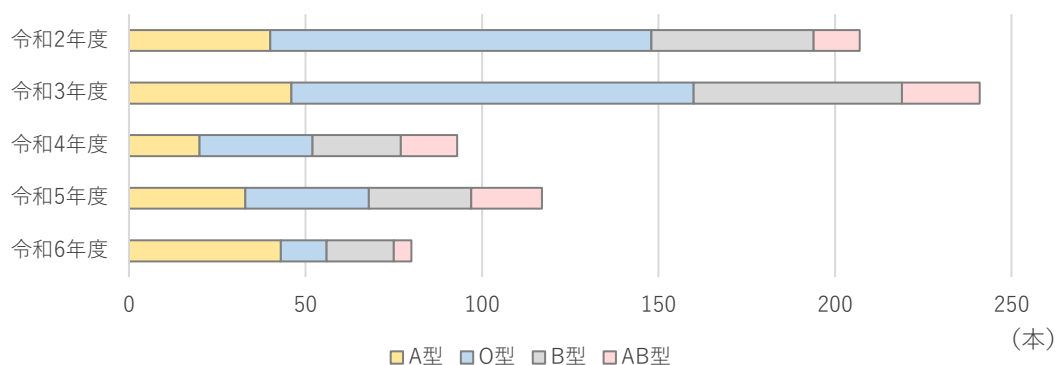
項目			令和5年度	令和6年度	前年度比
成分献血					
血小板製剤	照射濃厚血小板－LR	1単位	0	0	－
	照射濃厚血小板－LR	2単位	0	0	－
	照射濃厚血小板－LR	5単位	149	68	45.6%
	照射濃厚血小板－LR	10単位	6,857	6,348	92.6%
	照射濃厚血小板－LR	15単位	38	76	200.0%
	照射濃厚血小板－LR	20単位	1	3	300.0%
	照射洗浄血小板－LR		214	241	112.6%
	照射濃厚血小板HLA－LR	10単位	117	79	67.5%
	照射濃厚血小板HLA－LR	15単位	0	0	－
	照射濃厚血小板HLA－LR	20単位	0	0	－
	照射洗浄血小板HLA－LR		0	1	－
血漿製剤	新鮮凍結血漿	LR－480	279	652	233.7%
小 計			7,655	7,468	97.6%
400mL献血					
血漿製剤	新鮮凍結血漿	LR－240	6,765	6,482	95.8%
赤血球製剤	照射赤血球液	LR－2	28,023	28,143	100.4%
	照射洗浄赤血球	LR－2	40	9	22.5%
	照射解凍赤血球	LR－2	0	0	－
	照射合成血	LR－2	0	0	－
全血製剤	照射人全血	LR－2	0	0	－
小 計			34,828	34,634	99.4%
200mL献血					
血漿製剤	新鮮凍結血漿	LR－120	6	0	0.0%
赤血球製剤	照射赤血球液	LR－1	952	1,184	124.4%
	照射洗浄赤血球	LR－1	2	7	350.0%
	照射解凍赤血球	LR－1	0	0	－
	照射合成血	LR－1	0	0	－
全血製剤	照射人全血	LR－1	0	0	－
小 計			960	1,191	124.1%
合 計			43,443	43,293	99.7%

※ 供給実本数で計上した。

03 保健所管内供給実績

	血小板	血 漿	赤血球	全 血	合 計	構成比
盛岡市保健所	2,334	1,755	8,294	0	12,383	28.6%
県央保健所	2,799	4,289	8,086	0	15,174	35.0%
中部保健所	919	325	3,563	0	4,807	11.1%
奥州保健所	248	280	2,509	0	3,037	7.0%
一関保健所	198	212	1,808	0	2,218	5.1%
大船渡保健所	81	119	1,062	0	1,262	2.9%
釜石保健所	50	32	769	0	851	2.0%
宮古保健所	132	47	1,487	0	1,666	3.8%
久慈保健所	43	58	867	0	968	2.2%
二戸保健所	12	17	898	0	927	2.1%
合 計	6,816	7,134	29,343	0	43,293	100%

04 HLA適合血小板供給数



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
A型	40	46	20	33	43
O型	108	114	32	35	13
B型	46	59	25	29	19
AB型	13	22	16	20	5
合計	207	241	93	117	80

05 岩手県地区別供給数

安全な血液の安定的な確保と安定供給を図るため、平成24年度から実施している血液事業広域事業運営体制（全国7ブロックでの運営体制）により、北上地区以南・沿岸南部・西和賀地区医療圏は奥州供給出張所から、県北医療圏（二戸・久慈地区）は青森県赤十字血液センター八戸出張所からの供給体制を整えた。このことにより迅速な供給が可能となり、令和6年度は岩手県内93の医療機関に下図のとおり血液製剤の供給を行った。

血液センターの供給地域

		県内供給量に 占める割合
赤血球	17,867本	60.9%
血漿	6,091本	85.4%
血小板	5,265本	77.2%

八戸出張所の供給地域

（二戸・久慈地区
平成26年3月から供給開始）

		県内供給量に 占める割合
赤血球	1,765本	6.0%
血漿	75本	1.1%
血小板	55本	0.8%

奥州供給出張所の供給地域

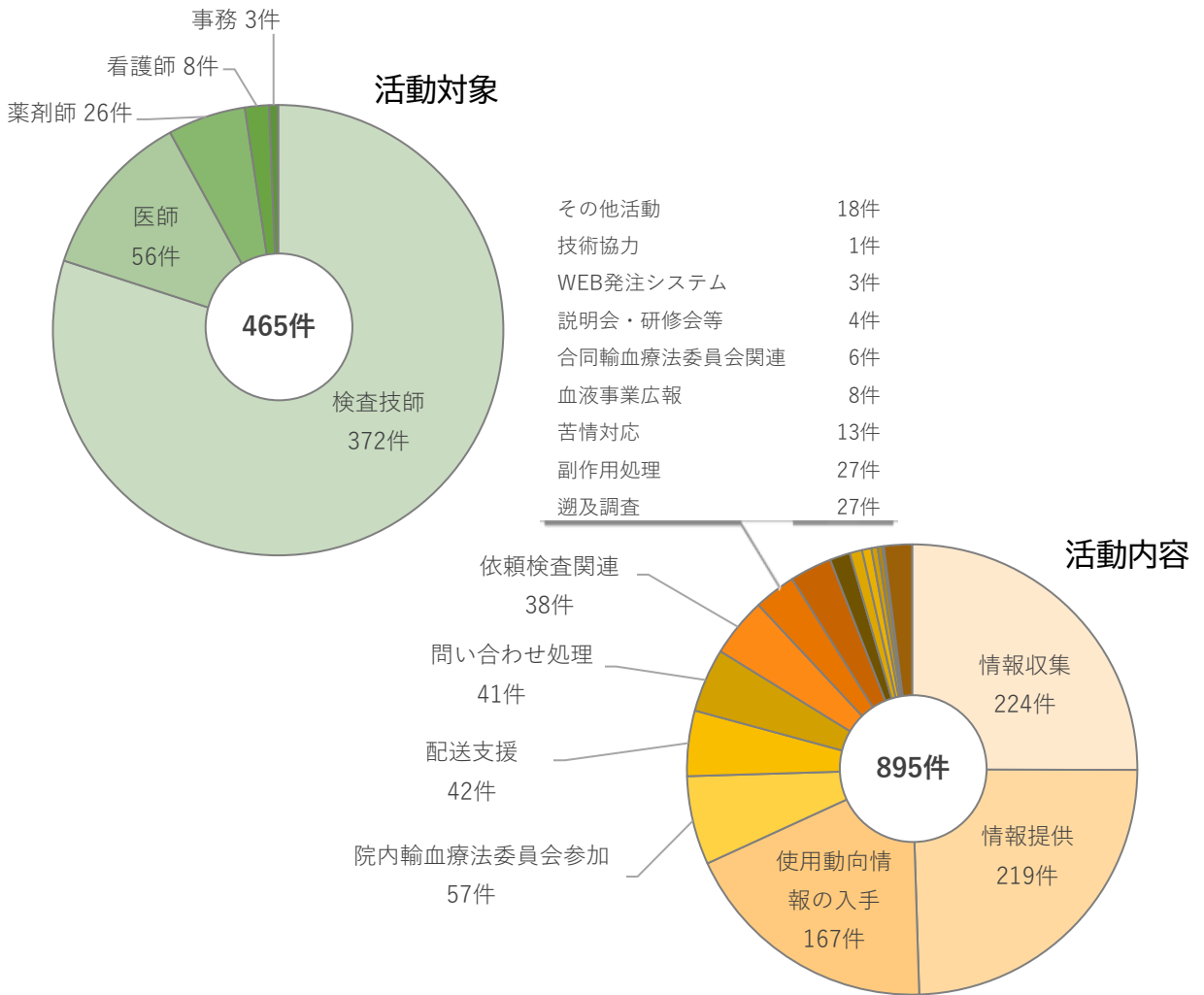
（一関・奥州・北上・大船渡・
遠野・釜石・西和賀地区）

		県内供給量に 占める割合
赤血球	9,711本	33.1%
血漿	968本	13.6%
血小板	1,496本	21.9%

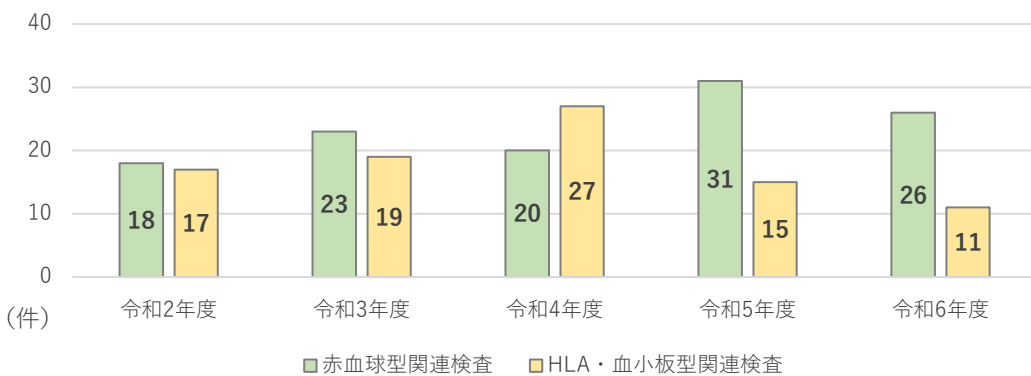
令和6年度岩手県供給数

		前年度比
赤血球	29,343本	101.1%
血漿	7,134本	101.2%
血小板	6,816本	92.4%

01 医薬情報活動の状況



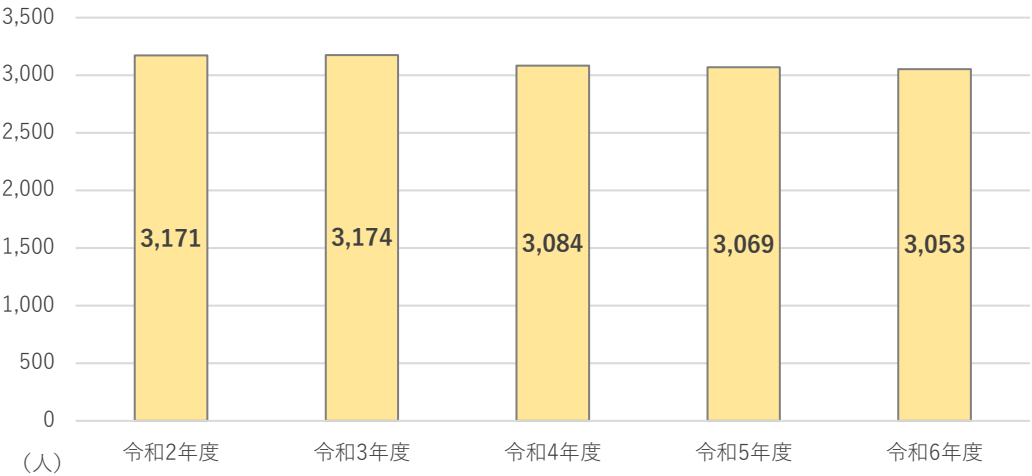
02 医療機関からの検査依頼状況



※ 赤血球型関連検査：ABO血液型精査、Rh血液型精査、不規則抗体同定検査等

※ HLA・血小板型関連検査：HLA抗体検査、血小板抗体検査、HLAタイピング検査（クラスⅠ）等

01 岩手県の骨髄ドナー登録者数



※ 令和6年度新規登録148人、取消164人（年齢超過等の理由による）

※ 骨髄バンク登録窓口

○ もりおか献血ルーム メルシー 受付時間内（12/31、1/1以外）

○ 献血バス 受付時間内

○ 各保健所 受付時間指定あり

※ 月1回程度指定日あり。盛岡市保健所、県央保健所を除く。

02 令和6年度新規登録状況

登録区分 登録実施団体	固定窓口	登録会	臨時 (献血バス)	臨時 (ルーム)	リタイピング	合計
中部保健所	0	5	－	－	0	5
奥州保健所	0	1	－	－	0	1
一関保健所	1	5	－	－	0	6
大船渡保健所	1	6	－	－	0	7
釜石保健所	0	6	－	－	0	6
宮古保健所	1	3	－	－	0	4
久慈保健所	1	5	－	－	0	6
二戸保健所	1	4	－	－	0	5
岩手県庁	－	33	－	－	0	33
血液センター	－	－	5	70	0	75
合計	5	68	5	70	0	148

01 令和6年度の動き

4月

- 12日 宮古市献血推進協議会
- 12日 第1回東北ブロック血液事業運営会議・総務管理会議・事業推進会議
- 16日 全国血液センター所長会議
- 24日 全国血液センター管理部門担当部長会議
- 25日 全国血液センター献血推進担当部長会議

5月

- 8日 住田町献血推進協議会
- 22日 第2回東北ブロック血液事業運営会議・総務管理会議・事業推進会議 (Web)

6月

- 4日 二戸市献血推進協議会
- 7日 奥州市献血推進協議会
- 10日 第1回評議員会
- 14日 健診医師業務連絡会議
- 17日 第3回東北ブロック総務管理会議・事業推進会議
- 21日 第3回東北ブロック血液事業運営会議
- 24日 葛巻町献血推進協議会
- 26日 久慈市献血推進協議会
- 27日 釜石市献血推進協議会
- 27日 東北ブロック改善活動推進研修会 (～28日)
- 28日 金ケ崎町献血推進協議会

7月

- 1日 愛の血液助け合い運動 (～7月31日)
- 1日 盛岡市献血推進協議会
- 2日 血液事業新規採用職員専門研修会 (Web)
- 4日 雫石町献血推進協議会
- 8日 大槌町献血推進協議会
- 19日 第4回東北ブロック総務管理会議・事業推進会議 (Web)
- 23日 一関市献血推進協議会
- 26日 第4回東北ブロック血液事業運営会議

8月

- 19日 第5回東北ブロック総務管理会議・事業推進会議 (Web)
- 21日 第5回東北ブロック血液事業運営会議 (Web)
- 26日 改善活動におけるリーダー研修会 (～27日)
- 28日 全国中堅幹部職員 (課長級等) 養成研修

9月

- 9日 全国中堅幹部職員 (課長級等) 養成研修
- 11日 第1ブロック支部合同職員 (係長) 研修会 (～9月13日)
- 20日 第6回東北ブロック総務管理会議・事業推進会議 (Web)
- 25日 第6回東北ブロック血液事業運営会議

10月

- 15日 北東北3県合同中堅職員研修会 (～16日)
- 18日 第7回東北ブロック総務管理会議・事業推進会議
- 24日 第7回東北ブロック血液事業運営会議(web)

11月

- 1日 血漿分画製剤国内製造工場への視察研修
- 14日 全国赤十字血液センター所長会議
- 18日 第8回東北ブロック血液事業運営会議・総務管理会議・事業推進会議 (Web)
- 21日 東北ブロック係長研修会 (～22日)

12月

- 1日 クリスマス献血キャンペーン (～12月25日)
- 9日 リスクマネージャー向け研修会
- 23日 血液センター現任課長研修会 (～24日)

1月

- 1日 はたちの献血キャンペーン (～2月28日)
- 17日 第9回東北ブロック血液事業運営会議・総務管理会議・事業推進会議
- 28日 盛岡赤十字病院研修医研修会

2月

- 1日 バレンタイン献血キャンペーン (～2月14日)
- 3日 第2回評議員会
- 6日 県立中部・県立胆沢・県立磐井病院研修医研修会 (Web)
- 10日 県立二戸・岩手医科大学附属病院研修医研修会 (Web)
- 12日 県立中央・県立大船渡・県立宮古・県立久慈・盛岡市立病院研修医研修会 (Web)
- 15日 つなげ、東北の『ち』から。米 (マイ) 献血予約キャンペーン (～3月31日)
- 26日 県央保健所献血担当者会議
- 27日 中部保健所献血担当者会議
- 27日 宮古保健所献血担当者会議

3月

- 4日 久慈保健所献血担当者会議
- 4日 二戸保健所献血担当者会議
- 5日 一関保健所献血担当者会議
- 5日 奥州保健所献血担当者会議
- 14日 第10回東北ブロック血液事業運営会議・総務管理会議・事業推進会議

02 学会発表

ファミリーマートの店舗駐車場を活用した献血実施について

岩手県赤十字血液センター 今駒 寧々 菅野 哲 川上 寛正
西海枝 武志 佐藤 泉悦 増田 友之

【問題点】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、移動採血における献血実施会場が激減した。

（令和元年度⇒549会場、令和2年度⇒504会場、令和3年度⇒501会場）

採血計画を達成するためには安定的に献血協力者を確保する必要があり、新規献血協力団体の拡充が不可欠である。今回は、令和4年度から新たに献血協力いただくファミリーマートの店舗駐車場を活用した献血実施について報告する。

【取組内容】

令和4年3月にファミリーマート北海道・北東北リージョン盛岡営業所からSDGsの取り組みの一環として、地域貢献活動である献血協力をしたいとの申出をうけ執り進めた。

献血実施日は集客が多いことと献血協力いただける団体が少ない土曜日とし計画した。

献血実施にあたっては、広い駐車場を有する店舗を会場として選定いただき、ファミリーマートの職員、従業員の方々による近隣事業所への渉外活動やポスティング、また知人への声かけ等により献血協力者を募っていただいた。さらに、ファミリーマートと協業するみちのくコカ・コーラボトリング株式会社に協力を仰ぎ、献血者への飲料提供（一部会場）の他、献血にもご協力いただいた。

【結果】

広い店舗駐車場を活用したこと、また事前に予約名簿を作成いただいたことで、密を避け、献血受付～採血を円滑に行うことができた。令和4年度から令和5年度にかけて、4市町4会場で実施（9回実施）したが、4市町において実施前の年度と比較し事業計画の達成率が大幅に上がった。

【展望】

ファミリーマートでの献血協力の広がりは岩手県から始まり、今では北日本地域を中心に広がっている。

ファミリーマートは県内のほとんどの自治体にあり、献血実施することで献血が身近に感じられ、献血者が増えると考える。今後は未実施の自治体での献血実施に繋げていくことで、輸血用血液製剤の安定確保の一助としたい。

02 学会発表

固定施設における献血所要時間短縮の取り組みについて

岩手県赤十字血液センター	村上 香織	坂本 季生	小西 綾	米田 佑介
	武藤 順子	中島 みどり	佐々木 孝司	
	西海枝 武志	佐藤 泉悦	増田 友之	

【問題点】

①献血者1人あたりの献血所要時間が長い ②広い県土に固定施設が1施設のみ、受付で待ち時間が長く帰られた方が多い

R3年度中に血液事業本部から示された「固定採血施設における献血者1人あたりの献血所要時間（受付～採血開始）」の内、3項目で岩手県は全国ワースト2位だった。広い県土に固定施設が1施設であり献血者を集めることにおいて不利な岩手県では、献血所要時間を短縮することで献血者への時間的負担を少なくしリピーターの増加と献血者の更なる受入を目指すべく取り組みを始めた。

【取組内容】

①現状の把握②看護師による業務の見直し③問診待合席の設置④全血予約枠の拡大

R4年度の献血所要時間をセクション毎に見たところ、「受付～Dr問診」と「採血前検査～採血開始」の所要時間が東北管内の同規模の施設と比べ、それぞれ10分程多く時間を要していた。

このことから、「受付～Dr問診」の時間短縮するため問診待合席を設置した。また、ホットパットの配付・検査測定方法の変更、採血開始までの速やかな誘導等の見直しを行った。

【結果】

献血所要時間について、R5年度は全血献血において前年度より11分短縮、成分献血においては8分短縮した。また、全血献血予約枠拡大後の12月～3月の実績が過去5年間で最多となった。受付で待ち時間を聞いて帰られた献血者の人数が約270人減少した。また、全血献血の実行計画達成率は98.3%であったが、成分献血についてはPPP 108.1%、PC 111.6%と計画以上を達成した。更に、職員の時間外勤務が、看護師は月平均6時間20分、受付職員は月平均3時間3分減少した。

【課題】

固定施設に足を運んでいただく献血者を1人でも多く増やすことは、移動採血の負担も少なくでき、岩手センター全体の事業改善に繋がることから、今後も引き続き取り組みを続ける。

01 献血目標について

令和7年度に献血により受け入れる血液の目標量			
全血献血	12,610L	(31,853人相当)	(前年度差：193L増)
成分献血	6,469L	(11,612人相当)	(前年度差：371L増)

- 1 この目標量は、医療機関における輸血用血液製剤の需要及び国から示されたアルブミン製剤等血漿分画製剤用の原料血漿確保目標量を確保するために必要な血液の目標量を定めたものである。
- 2 医療機関における令和7年度の血液製剤の需要見込みについては、日本赤十字社が次年度の血液需要量の推計を基に算出したものである。
- 3 血液製剤の国内自給自足の原則を踏まえ、自県で使用する血液は自県で確保することを基本とするが、血液製剤の安定供給の確保、製剤の有効期限等を考慮し、東北ブロック内で適宜、需給調整を行うものである。

【献血目標の内訳】

区分	令和7年度		令和6年度	
	献血量 (L)	人数 (人)	献血量 (L)	人数 (人)
全血献血	12,610 (193)	31,853 (439)	12,417	31,414
200mL	132 (△16)	658 (△84)	148	742
400mL	12,478 (209)	31,195 (523)	12,269	30,672
成分献血	6,469 (371)	11,612 (720)	6,098	10,892
血小板	2,478 (14)	4,554 (130)	2,464	4,424
血漿	3,991 (357)	7,058 (590)	3,634	6,468
計	19,079 (564)	43,465 (1,159)	18,515	42,306

※ () は令和6年度との差。

献血量 (L) は端数処理しているため、内訳と計は必ずしも一致しない。

02 岩手県献血推進計画

はじめに（現状と課題）

本県における近年の血液製剤の需要量は、赤血球製剤及び血漿製剤及び血小板製剤ともに減少傾向の状況にある。また、赤血球製剤については、その需要及び供給の約9割以上を400mL献血由来の高単位製剤が占めている。

本県の献血者数は、平成3年度以降、少子高齢化に伴う人口減少や血液製剤の高単位化に伴い減少してきているが、平成30年度以降はおおむね横ばい傾向にある。

令和6年度の献血者数は延べ44,377人となっており、献血可能年齢に相当する県民のおよそ15人に1人から尊い献血への協力をいただいている。そのうち、若年層献血者数は年々減少傾向にあることから、将来にわたり輸血用血液製剤の安定供給を維持するために、若年層献血者の確保が急務とされている。

このような状況のなかで、医療において必要となる血液製剤の「安定的な供給を支える持続可能な需給体制を確保」するため、次に掲げる事項が課題となる。

- 1 需要が高い高単位製剤（400mL献血、成分献血由来）に対応した献血者の確保
- 2 県内で使用される輸血用血液製剤を原則県内献血による確保
- 3 県民の献血に対する理解と協力の確保、特に10歳代から30歳代の献血者の確保
- 4 複数回献血者の確保

本計画は、このような現状と課題を踏まえ、献血について県民の理解を深めるとともに、岩手県赤十字血液センター（以下、「血液センター」という。）による献血の受入が円滑に実施されるよう「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（昭和31年法律第160号）第10条第5項の規定に基づき、令和7年度の本県における献血の推進に関する計画とするものである。

第1 献血目標

令和7年度に献血により受け入れる血液の目標量は、全血献血12,610L（31,853人相当）、成分献血6,469L（11,612人相当）とする。

これは、県内医療機関における血液製剤の需要に対応するものと、国から示されたアルブミン製剤等血漿分画製剤用の原料血漿確保目標量を確保するものである。

【献血目標の内訳】

区分		令和7年度		令和6年度	
		献血量（L）	人数（人）	献血量（L）	人数（人）
全血献血		12,610（193）	31,853（439）	12,417	31,414
	200mL	132（△16）	658（△84）	148	742
	400mL	12,478（209）	31,195（523）	12,269	30,672
成分献血		6,469（371）	11,612（720）	6,098	10,892
	血小板	2,478（14）	4,554（130）	2,464	4,424
	血漿	3,991（357）	7,058（590）	3,634	6,468
計		19,079（564）	43,465（1,159）	18,515	42,306

※ （ ） 令和6年度との差

献血量（L）は端数処理しているため、内訳と計は必ずしも一致しない。

第2 献血推進

広く県民に対し献血思想の普及啓発を図り、献血血液による血液製剤の自給を推進するため、次の事項を行う。

1 献血の普及啓発

(1) 献血推進キャンペーン等の実施

ア 県、市町村及び血液センターは、相互に連携し、献血目標の達成及び献血の普及啓発を目的に、次の献血推進キャンペーンを実施する。

実施事項	実施時期	内 容
愛の血液助け合い運動	7月	・県、市町村及び日本赤十字社岩手県支部の連携による400mL献血及び成分献血の広報活動の強化
はたちの献血キャンペーン	1～2月	・新たに成人を迎える若者を中心とした県民各層への400mL献血及び成分献血の普及啓発の実施
各種イベント献血等	随時	・クリスマス献血（12月）、バレンタイン献血（2月） ・岩手県献血マスコット「ココロンちゃん」を活用した街頭献血の実施

イ 県及び日本赤十字社岩手県支部は、愛の血液助け合い運動の一環として、模範となる献血推進協力団体等に対して、知事及び日本赤十字社岩手県支部長感謝状の贈呈を行うとともに、併せて厚生労働大臣表彰状並びに感謝状の伝達を行う。

実施事項	実施時期	内 容
知事・日赤県支部長感謝状の贈呈等	7月	・厚生労働大臣表彰状 概ね 2団体又は個人 ・厚生労働大臣感謝状 概ね 7団体又は個人 ・知事・日赤県支部長感謝状 概ね 11団体又は個人

(2) 若年層を対象とした普及啓発

ア 高校生等に対する重点的な普及啓発

県、市町村及び血液センターは、相互に連携し、次世代の献血者を育てていくために、高校献血を実施し、高校生に対する重点的な献血思想の普及に努める。

また、血液製剤の安全性、製造効率、医療機関の需要の観点から、献血を推進する上では、400mL献血を基本として行う必要があるが、400mL献血に献血者が不安のある場合は200mL献血を推進し、出来る限り献血を経験してもらえるよう努める。

なお、高校献血の実施を原則とするが、実施が困難な場合は献血セミナーの開催に努め、普及啓発を図る。

血液センターは、中高生への普及啓発を図るため、献血ルームを中学生・高校生の職場体験の場として提供することについて、学校へ働きかけをする。

イ 大学生等への普及啓発

血液センターは、県内の大学や専門学校を訪問し、献血の協力と400mL献血の推進を行うとともに、入学オリエンテーション等での献血リーフレットの配布などを依頼する。

ウ 学生ボランティアと協働した普及啓発

県及び血液センターは、相互に連携し、学生ボランティアの育成を図るとともに、イベント会場等において協働し、献血思想の普及及び献血の推進を図る。

実施事項	実施時期	内 容
高校生への普及啓発	通年	・高校献血の実施と併せてパネル展示等による献血思想の啓発 ・全高校卒業生に県が作成するクリアファイルを配布 ・高校を訪問して献血セミナーによる普及啓発 ・献血ルームを中学生・高校生の職場体験の場として提供
大学生等への普及啓発	通年	・県内の大学や専門学校を訪問して献血への協力依頼及び入学オリエンテーション等でのリーフレットの配布
学生ボランティアの支援	通年	・学生ボランティアを支援し、意見交換する場を設ける等、活動の活性化を促す支援

VI 令和7年度の活動方針・推進計画

<数値目標>

- ・「献血推進2025」により国が設定する若年層における献血率の目標を達成するため、若年層の献血率を上昇させる。
- 「献血推進2025」による取組（取組期間：令和3年度～令和7年度）

	10代	20代	30代
若年層における献血率の目標値	6.6%	6.8%	6.6%
（参考）令和5年度 岩手県実績	4.4%	6.3%	5.9%
（参考）〃 東北ブロック実績	5.2%	6.2%	6.1%
（参考）〃 全国実績	4.7%	5.3%	5.3%

※血液事業年度報 令和5年度統計表データ

（3）献血ルーム及び献血バスにおける普及啓発

ア 献血ルームにおける普及啓発

献血ルームの周辺事業所、各種協会等を訪問し、献血ルームでの献血に協力いただけるよう、推進活動を強化する。

イ 献血バスにおける普及啓発

献血バスで全血献血を協力いただいた献血者に献血ルームのチラシを配布し、献血ルームでの協力も依頼する。

2 400mL献血の更なる推進

医療機関からの需要に応えるため、県、市町村及び血液センターは、献血受付時など多くの機会を捉えて広く400mL献血を呼びかけ、400mL献血の理解と協力を求める普及啓発事業を展開する。

実施事項	実施時期	内 容
400mL献血普及啓発	随時	・400mL献血への理解と協力を求める広報活動やパンフレット等を活用した普及啓発の実施 ・献血受付における400mL献血誘引活動（ルーム） ・各種イベントにおける岩手県献血マスコットキャラクターを用いた400mL献血の普及啓発の実施 ・公共交通機関の車内広告を活用した献血思想の普及啓発

3 ボランティア団体の育成

県、市町村及び血液センターは、相互に連携し、ライオンズクラブ、学生ボランティア及びその他各種団体等に対し献血制度の啓発を行い、献血ボランティア団体の育成を図る。

4 血液製剤使用適正化の普及

県及び血液センターは、相互に連携し、医療機関や研修医等への啓発資料の配付等を通じ、血液製剤の使用指針等の普及啓発を行う。

さらに、合同輸血療法委員会により、血液製剤の適正使用の普及啓発を行う。

実施事項	実施時期	内 容
合同輸血療法委員会の開催	12月	・医療機関における血液製剤使用に係る調査等の実施 ・講演会の開催等による血液製剤適正使用の啓発
血液製剤使用適正化推進	随時	・県内医療機関、研修医及び岩手医科大学医学部学生へ血液製剤の適正使用に係る資料等を配布

5 複数回献血者の確保の強化

血液センターは、県及び市町村の協力を得て、複数回献血者の確保のため、献血Web会員サービス「ラブラッド」（旧複数回献血クラブ）の会員の確保を推進する。あわせて、新型コロナウイルス感染対策として、事前予約を広く周知する。（参考）ラブラッド登録者数：26,107人（令和6年12月現在）

実施事項	実施時期	内 容
複数回献血者の確保の強化	通年	・献血接遇時、リーフレットを使用して献血Web会員サービス「ラブラッド」の会員を募集 ・献血のお願いはがきに会員登録用「二次元バーコード」の表記 ・年1～2回の献血協力者に対し、再度協力いただくようEメール等で依頼

6 パンフレットを活用した献血協力団体及び複数回献血者の確保

県は、献血者を安定的に確保するため、献血協力団体募集パンフレット及び複数回献血者募集パンフレットを作成する。県、市町村及び血液センターは、パンフレットを活用した普及啓発を行い新規協力団体の開拓及び複数回献血者の確保に努める。

7 その他

(1) 献血推進協議会等の開催

ア 献血推進協議会の開催

県及び血液センターは、献血思想の普及と血液事業の適正な運営を確保するため、岩手県献血推進協議会を開催し、県内における輸血用血液の需要見込み等を基に、岩手県の献血推進計画を検討、協議する。

また、市町村は、市町村献血推進協議会を設置するとともに、その活用に努める。

イ 献血推進担当者会議の開催

県及び血液センターは、市町村及び保健所等の献血推進担当者会議を開催し、献血推進の課題及び対応策等について研修及び意見交換等を行う。

(2) 献血受入環境の整備

血液センターは、献血者が協力しやすい環境を整備し、県及び市町村と調整のうえ、効果的な献血受入計画を立案する。

また、血液センターは、献血ルームにおける献血者の円滑な受入に配慮するため、献血者に安心・安らぎを与える環境整備の促進等を行い、機能強化に努める。

実施事項	実施時期	内 容
効果的な献血受入計画	通年	・献血協力者の動向等に十分配慮した献血受入計画の検討及び策定 ・企業献血の年間献血受入回数の更なる強化 ・企業のほか、組合や団体への働きかけを強化、新規協力団体の確保 ・大学、専門学校等での献血における、サークル等の集団献血の依頼の促進 ・成分献血者に対し、次回献血日の予約の依頼
献血ルームの機能強化	通年	・これまで以上に予約献血を推進し、医療機関で必要とする血液型別の血液確保に努めるとともに、混雑時の待ち時間の減少やソーシャルディスタンスを確保する。

第3 その他献血の推進に関する重要事項

1 献血推進施策の進捗状況等に関する確認及び評価について

県は、市町村及び血液センターと適宜連絡調整し、献血推進施策の進捗状況について確認及び評価を行うとともに、必要に応じ献血推進施策の見直しを行う。

2 供給体制の整備と在庫管理について

県及び血液センターは赤血球製剤等の在庫水準を随時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、供給に支障を来す危険性を勘案し、必要に応じ所要の献血推進措置を講ずるものとする。

3 災害時等における献血の確保について

県及び市町村は、災害時あるいは感染症のまん延下であっても医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、報道機関の協力を得て献血会場の周知や献血啓発CMを行うとともに、献血への協力及び献血者の確保に取り組む。

また、県及び市町村は、血液センター等関係者と連携し、献血により得られた血液が円滑に現場に供給されるよう措置を講ずる。

03 市町村別献血目標

	全血献血			200mL換算(本)	成分献血
	200mL	400mL	合計		
盛岡圏域	188	8,084	8,272	16,356	0
盛岡市保健所	118	5,074	5,192	10,266	0
県央保健所	70	3,010	3,080	6,090	0
雫石町	4	172	176	348	
滝沢市	22	946	968	1,914	
紫波町	11	473	484	957	
矢巾町	14	602	616	1,218	
葛巻町	3	129	132	261	
岩手町	6	258	264	522	
八幡平市	10	430	440	870	
中部保健所	118	5,074	5,192	10,266	0
花巻市	49	2,107	2,156	4,263	
遠野市	12	516	528	1,044	
北上市	55	2,365	2,420	4,785	
西和賀町	2	86	88	174	
奥州保健所	74	3,182	3,256	6,438	0
奥州市	63	2,709	2,772	5,481	
金ヶ崎町	11	473	484	957	
一関保健所	67	2,881	2,948	5,829	0
一関市	64	2,752	2,816	5,568	
平泉町	3	129	132	261	
大船渡保健所	29	1,247	1,276	2,523	0
大船渡市	19	817	836	1,653	
陸前高田市	8	344	352	696	
住田町	2	86	88	174	
釜石保健所	20	860	880	1,740	0
釜石市	17	731	748	1,479	
大槌町	3	129	132	261	
宮古保健所	36	1,548	1,584	3,132	0
宮古市	24	1,032	1,056	2,088	
山田町	7	301	308	609	
岩泉町	4	172	176	348	
田野畑村	1	43	44	87	
久慈保健所	26	1,118	1,144	2,262	0
久慈市	19	817	836	1,653	
普代村	1	43	44	87	
洋野町	4	172	176	348	
野田村	2	86	88	174	
二戸保健所	24	1,032	1,056	2,088	0
二戸市	17	731	748	1,479	
軽米町	2	86	88	174	
九戸村	2	86	88	174	
一戸町	3	129	132	261	
市町村計	582	25,026	25,608	50,634	0
献血ルーム	76	6,169	6,245	12,414	11,612
合 計	658	31,195	31,853	63,048	11,612

岩手県献血推進要綱

（趣 旨）

第1 この要綱は、輸血用血液を献血によって確保し、その供給の安定を図るため必要な事項について定めるものとする。

（献血思想の普及及び組織の育成）

第2 岩手県（以下「県」という。）、市町村及び日本赤十字社岩手県支部（以下「日赤県支部」という。）は、広報活動を通じ献血思想の普及向上に努めるとともに、地域、職域、学校及び各種団体等の献血組織の育成強化を図るものとする。

（地方公共団体の業務）

第3 県は、岩手県献血推進協議会を設置するとともに、県内における輸血用血液の需要見込量等をもとに献血計画を策定し、献血の推進を図るものとする。

2 市町村は、市町村献血推進協議会の設置を促進するとともに、県の定める献血計画に基づき、その目標達成に努めるものとする。

（日赤県支部の業務）

第4 日赤県支部は、献血の受入れと供給業務を行うため、岩手県赤十字血液センター（以下「血液センター」という。）及び血液センター出張所を設置するとともに、その組織を通じ献血の推進に努めるものとする。

2 日赤県支部は、献血の推進に関する業務を行う献血推進専門員を設置するものとする。

（移動採血車の運行）

第5 血液センターは、県の定める献血計画に基づき、保健所（支所）及び市町村と協議、調整し、移動採血車の運行計画を策定するとともに、採血業務にあたるものとする。

2 血液センターは、関係者の協力を得て、随時街頭献血を行うものとする。

（付 則）

この要綱は、昭和51年4月1日から施行する。

（付 則）

この要綱は、平成11年4月1日から施行する。

岩手県献血推進協議会設置要綱

（設 置）

第1 献血思想の普及とその推進を図るため、岩手県献血推進協議会（以下「協議会」という。）を設ける。

（所掌事務）

第2 協議会は次に掲げる事項を協議する。

- (1) 献血制度の広報活動に関すること。
- (2) 献血思想の普及に関すること。
- (3) 保存血液の需要計画に関すること。
- (4) 献血組織の育成に関すること。
- (5) その他献血制度の推進に関すること。

（組 織）

第3 協議会の委員は、32名以内で組織する。

2. 委員は、次に掲げる者のうちから知事が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 医師会、薬剤師会から推薦を受けた者
- (3) 日赤岩手県支部事務局長及び血液センター所長
- (4) 商工会議所連合会、商工会連合会から推薦を受けた者
- (5) 市長会、町村会から推薦を受けた者
- (6) 労働組合、国民健康保険団体から推薦を受けた者
- (7) 高等学校長会、私学協会等教育機関及びPTA会から推薦を受けた者
- (8) 婦人会、青年団の団体から推薦を受けた者
- (9) 新聞、放送等報道機関から推薦を受けた者
- (10) 行政関係機関の職員
- (11) 献血に関するボランティア活動を行う者

（役 職）

第4 協議会に会長及び副会長を置く。

2. 会長は、委員のうちから互選する。
3. 会長は、会務を総理し会議の議長となる。
4. 副会長は、委員のうちから会長が指名する。
5. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。

（会 議）

第5 会議は知事が招集する。

(幹 事)

第 6 協議会に幹事若干を置く。

2. 幹事は県職員及び日赤岩手県支部職員のうちから会長が委嘱し、会長が命じた協議会の運営に必要な事項及び事務を行う。

(任 期)

第 7 委員及び幹事の任期は2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は前任者の残任期間とする。

(庶 務)

第 8 協議会の庶務は、保健福祉部健康国保課において処理する。

(その他必要事項)

第 9 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、会長が協議会にはかって定める。

附 則

この要綱は、昭和39年11月26日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和48年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和52年2月10日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和53年2月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成11年1月4日から施行する。

附 則

この要綱は、平成13年12月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年1月9日から施行する。

不 測

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

岩手県献血推進協議会委員名簿

(任期：令和 6 年2月17日～令和 8 年2月16日)

役職名	氏 名
岩手医科大学医学部内科学講座血液腫瘍内科分野教授	伊藤 薫樹
岩手医科大学医学部麻酔学講座教授	鈴木 健二
岩手県立中央病院長	宮田 剛
一般社団法人岩手県医師会長	本間 博
一般社団法人岩手県薬剤師会副会長	金澤 貴子
日本赤十字社岩手県支部事務局長	佐藤 隆浩
岩手県赤十字血液センター所長	柴崎 至
岩手県商工会議所連合会専務理事	菊池 透
岩手県商工会連合会事務局長	及川 茂
岩手県市長会（遠野市長）	多田 一彦
岩手県町村会（田野畑村長）	佐々木 靖
日本労働組合総連合会岩手県連合会（N T T労働組合東北総支部岩手分会 分会長）	熊谷 孝
岩手県国民健康保険団体連合会専務理事	高橋 勝重
岩手県高等学校長協会（盛岡南高等学校長）	田鎖 信也
一般社団法人岩手県私学協会理事（盛岡白百合学園中学高等学校長）	浅沼 千明
岩手県高等学校 P T A 連合会事務局長	佐藤 尚
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会副会長	山田 一子
岩手県青年団体協議会長	松田 恵美子
J A 岩手県女性組織協議会副会長	菅原 情子
日本放送協会盛岡放送局副局長	新山 秀俊
株式会社岩手日報社編集局次長	熊谷 宏彰
株式会社 I B C 岩手放送取締役メディアセンター長	兼平 宗彦
株式会社テレビ岩手報道制作局長	小形 恵一
株式会社岩手めんこいテレビ取締役報道局長	櫻 克宏
株式会社岩手朝日テレビ報道制作局次長	阿部 卓司
株式会社エフエム岩手常務取締役放送部長	松尾 尚人
陸上自衛隊岩手駐屯地業務隊長	清野 寛光
イーハトーブ学生赤十字奉仕団代表	伊藤 星花
岩手県ふるさと振興部長	村上 宏治
岩手県医療局長	小原 重幸
岩手県教育委員会教育長	佐藤 一男

岩手県合同輸血療法委員会設置要綱

H23.6.1制定

H29.3.6一部改正

(目的)

第1条 本会は、岩手県内における適正かつ安全な輸血療法の向上を目指すものとする。

(名称)

第2条 本会は、「岩手県合同輸血療法委員会」と称する。

(事業)

第3条 本会は目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 世話人会の開催
- (2) 岩手県合同輸血療法委員会の開催
- (3) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(構成)

第4条 本会は、次に掲げる者によって構成する。

- (1) 岩手県内の医療機関の輸血療法関係委員会の長、輸血責任医師及び輸血業務関係担当者等
- (2) 岩手県赤十字血液センター職員
- (3) 地方自治体の血液関係行政担当者
- (4) その他必要と認められる者

(役員)

第5条 本会役員として、代表世話人、世話人を置き、また必要に応じて顧問を置く。

2 世話人は、主として次に掲げる者とする。

- (1) 岩手県内の主要医療機関の輸血療法関係委員会の長、輸血責任医師及び輸血業務関係担当者
- (2) 岩手県赤十字血液センター所長
- (3) 岩手県医療局業務支援課職員
- (4) 岩手県保健福祉部健康国保課職員
- (5) その他必要と認められる者

3 代表世話人は、世話人の互選により定め、会を代表し、必要に応じて会議を招集し、議長となる。ただし、代表世話人が互選される前に召集する会議は、健康国保課総括課長が召集する。

4 顧問は、本会の運営に必要な助言を得るため、世話人の推薦により定める。

5 役員の任期は、4月1日から翌々年の3月31日までの2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で新たに就任した役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。

(運営)

第6条 本会の運営は、世話人会により決定する。

(会の開催)

第7条 世話人会は、年1回以上開催する。

第8条 岩手県合同輸血療法委員会は、年1回以上開催する。

第9条 代表世話人は、本会構成員の他、意見等を聴くために必要があると認める者に出席させることができる。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、岩手県保健福祉部健康国保課及び岩手県赤十字血液センターに事務局を置く。

(その他)

第11条 本要綱の変更等については、世話人会において協議し定める。

2 本要綱に定めるもののほか、運営等に必要な事項は世話人会において協議し、別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年6月1日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成29年3月6日から施行する。

2 この要綱の施行の際、現に岩手県合同輸血療法委員会の役員である者の任期は、この要綱による改正後の岩手県合同輸血療法委員会設置要綱第5条第5項の規定にかかわらず、平成29年3月31日までとする。